

三 浦 半 島 の 蝶

三浦半島昆虫研究会*

The Butterflies of Miura Peninsula, Kanagawa, Japan

Miura Peninsula Insect Study Club.**

(With 5 text-figures, 1 table and 6 plates)

1. In this paper the authors enumerated 63 species of butterflies collected in the Miura Peninsula since 1954. These are classified into the following 7 families: Papilionidae 9, Pieridae 6, Lycaenidae 16, Danaidae 1, Nymphalidae 15, Satyridae 6, Hesperidae 10. On the other hand, 6 species of butterflies have been recorded by WATANABE (1949) and WATARAI (1929), but these specimens have not been confirmed.

2. Distribution and seasonal prevalence of the butterflies in the Miura Peninsula are disclosed.

3. The butterflies fauna of the Miura Peninsula is characterized by several species. *Eurema* (*Nirmula*) *laeta*, *Isoteinon lamprospilus* and several other species are distributed in the northern part of the Miura Peninsula. These species are found mainly in Tama Hills, but they are rare in the Miura Peninsula. It is considered that the Oppama—Kamakura line marks the southern limit of these butterflies. While, *Zizuna otis* is distributed only in the southern part of the Miura Peninsula. It is assumed that the food plants distribution is related to this fact.

Most of the specimens recorded are kept in the collection of the Yokosuka City Museum.

は じ め に

首都圏郊外住宅地としての三浦半島は、大規模な宅地造成などにより著しく自然環境が変化している。従って半島内に生息する昆虫類、特に植物と深い関係を有する多くの蝶類

* 事務局 横須賀市博物館 Yokosuka City Museum, Yokosuka 238, Japan.

原稿受理1977年6月20日, 横須賀市博物館業績263号

** 阿部 隆 (横浜市金沢区六浦町 4843 T.A.), 榎戸良裕 (横浜市立六浦中学校 Y.E.), 石渡裕之 (横浜市立芹ガ谷中学校 H.I.), 鬼丸 勉 (横浜市金沢区六浦町 4070 T.K.), 三春和順 (三浦市白石町 13-33 K.M.), 長沢一由 (横浜市金沢区六浦町 618 K.N.), 西村正賢 (横浜市戸塚区公田町 809-2 M.N.), 中村進一 (横浜市金沢区六浦町 750 S.N.), 小畑 裕 (逗子市沼間 1-13-23 H.D.), 大場信義 (横須賀市博物館 N.O.), 岡部洋一 (横浜市金沢区六浦町 1051 Y.O.), 干艘 均 (横浜市金沢区六浦町 3939 H.S.), 鈴木広一 (横浜市金沢区六浦町 4032 K.S.), 坂本繁夫 (横須賀市栗田 1-35-2 S.S.), 宿利竜朗 (横浜市金沢区六浦町 1063 T.S.), 高桑正敏 (横浜市金沢区六浦町 3577 M.Ta.), 武田政弘 (横浜市金沢区六浦町 331 M.T.), 柳下 昭 (横浜市金沢区六浦町 4343 A.Y.), 山田 明 (横須賀市上町 2-1 A.Ya.), 山本良晴 (横須賀市上町 1-32 Y.Y.), 座間充博 (横須賀市大滝町 2-27 A.Z.) アルファベット順
資料提供者: 林 公義 (横須賀市博物館 M.H.), 益本仁雄 (横浜市戸塚区上郷町大光原 891-30 K.M.), 茂泉俊夫 (愛知県瀬戸市菱野団地原山台 22-17-515 T.M.), 大野益行 (横浜市南区六ッ川 1-554 M.T.), 大野義昭 (東京都豊島区目白 3-20-7 Yo.O.), 鈴木 裕 (横須賀市追浜本町 1-11 Y.S.), 植木茂昌 (横浜市中区北方町 1-67 S.U.) アルファベット順

にとっては致命的な環境状態に陥りつつあるといえる。こうしたことから、これらの昆虫類が三浦半島から消滅してしまう前に緊急に分布、生態などの調査を要するものである。

三浦半島には生物地理学上重要なハマオモト線（小清水, 1938）、本州南岸線（木下・阿田, 1933）等の分布境界線が北緯 $35^{\circ}10'$ の線付近を通過している。このようなことから、本調査域の蝶相を明らかにすることはきわめて重要なことである。

これまでに三浦半島の蝶類については、梶田（1930）、横須賀郷土文化研究室（1952）、石黒（1974）らの断片的な報告があるだけで、まとまったものとしては、わずかに鈴木（1963）の報告があるのみである。しかし、生態、発消生長、分布等についてはなお追加調査を要するものであった。筆者らはその後、新たに確認記録された種について追加、補足し、分布、生態、生息環境等に若干の知見を加えるとともにこれらの資料を公開する目的で調査を行ってきた。この調査は三浦半島の蝶相を明らかにし、自然状況を把握するための基礎資料とするためのものである。本報文中に記載した記録資料の他、多数の採集、目撃記録が得られたが割愛した。

これら全ての記録資料は横須賀市博物館で保管している。主要な標本資料は標本番号を付記して横須賀市博物館昆虫資料および寄託資料として、横須賀市博物館に所蔵しているので併せて利用頂ければ幸いである。その他の標本資料は一部を除き採集者又は標本所在地を明記した。学名及びその配列は川副・若林（1976）によった。

三浦半島全域にわたる広範囲な調査故、時間的、空間的に未調査の部分が甚だ多いが、今後の調査研究の資料とするためここに報告する。

調査地概況および方法

三浦半島は南から武山地（202 m）、大楠山地（242 m）、二子山地（207.9 m）等からなる小山脈があり、これらの山地を除けば一般に 50 m 以下の台地になっている。地質は一部を除き、第三紀、第四紀の堆積物からなり、房総半島および多摩丘陵の地質と密接な関係にある。

半島であることから、海岸の影響、特に付近を流れる黒潮の影響を強く受けて気候は年間を通して温暖である。年間の平均、最高および最低気温は気象庁横浜地方気象台（1975）の資料によれば Fig. 1 の通りである。冬期における最低気温を地域別にみれば、三崎、横須賀そして鎌倉と半島北部になるに従い順次低くなる。年間総雨量は 2,000 mm 前後であり、半島南部程雨量は増加する傾向がある。雨量は夏季に多く、冬季に少ない太平洋型降水量を示している（Fig. 2）。

植生は温帯照葉樹であるタブ、トベラ、シイ、ヤブニッケイ、ヤブツバキ等が優生であり、半島北部になるに従い、コナラ、クヌギ、アカガシ等の雑木林が多くなる。しかし自然破壊が進む中で、これらの林の一部は伐採され、二次林へ遷移し、他の多くは宅造その他により急激に変貌し消失しつつある。

調査方法は1954年以来、三浦半島内で採集された標本資料、横須賀市博物館所蔵の昆虫標本資料および観察記録を基にして分布、生態、発消生長等に検討を加えた。

採集は半島北部・中部・南部に各々採集地点を設け、年間を通して踏査することにより実施した。しかし半島南部は他地域に比較して調査が充分とはいえないので、引続いて今後追加補足を行なう予定である。

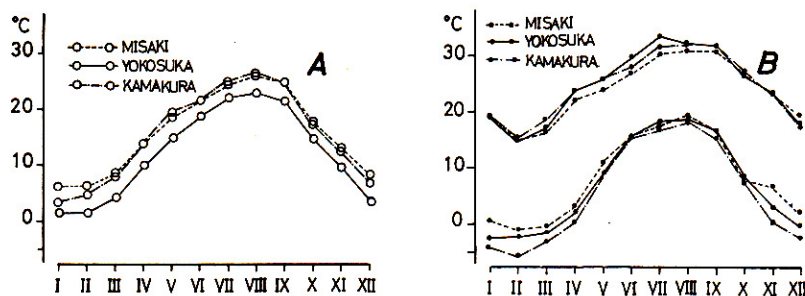


Fig. 1. Atmospheric temperature in Miura Peninsula, 1975.
A: Average temperature B: Minimum and Maximum temperature

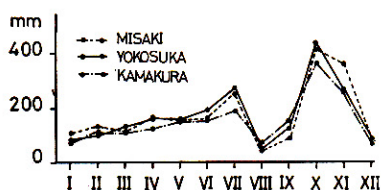


Fig. 2. Amount of rainfall in Miura Peninsula, 1975

採集記録された蝶類が半島内で土着しているか否かを明らかにするため、一部の種については幼生期の確認と越冬状況を観察した。

採集例の少ない種については目撃記録を加えることにより、記録資料の充実を図った。

汎 例

本調査では藤沢市江の島と横浜市金沢区円海山を結ぶ線より南の地域を含む三浦半島を対象とした。

分布型とは次の様に表示するものとする。

I: 全域に分布, II: 偏在して分布, III: 遺存的に分布。a~c は目撃頻度を表わす。

a: 多くみられる, b: 普通にみられる, c: 稀にみられる。

発生消長図における発生状況は、同一種内における相対的な目撃頻度を定性的に表示したものである。

標本資料は次の様に類別し番号を付した。

横須賀市博物館昆虫資料 Yokosuka City Museum Insect Collection: YCM-I。

横須賀市博物館昆虫寄託資料 (三浦半島産蝶類) Miura Peninsula Butterflies Collection: MBC。

また MBC-2-1~2-201, MBC-3-1~3-82 は各々山本良晴, 座間充博の寄託標本であることを示す。

本文中の記録資料の配列は次の通りである。①横須賀市博物館昆虫資料: YCM-I, ②横須賀市博物館昆虫寄託資料 (三浦半島産蝶類): MBC, ③個人所蔵標本 * 印 ④目撃記録その他: ** 印。

個々の記録資料は次の順に表記した。

- ①記録地 ②標本番号又は標本所在地を示す調査者、資料提供者の略号（イニシャル）
 ③記録個体数（ ）内数字および一部については性別 ④記録年月日。

調査結果および考察

採集蝶類目録

Table 1 に示す通りである。

Table 1. A list of the Butterflies of Miura Peninsula

PAPILIONIDAE	アゲハチョウ科
<i>Atrophaneura alcinous</i> KLUG	ジャコウアゲハ
<i>Graphium sarpedon</i> LINNAEUS	アオスジアゲハ
<i>Papilio machaon</i> LINNAEUS	キアゲハ
<i>P. xuthus</i> LINNAEUS	アゲハ
<i>P. helenus</i> LINNAEUS	モンキアゲハ
<i>P. protenor</i> CRAMER	クロアゲハ
<i>P. macilentus</i> JANSON	オナガアゲハ
<i>P. bianor</i> CRAMER	カラスアゲハ
<i>P. maackii</i> MÉNÉTRIÈS	ミヤマカラスアゲハ
PIERIDAE	シロチョウ科
<i>Colias (Colias) erate</i> ESPER	モンキチョウ
<i>Eurema (Nirmula) laeta</i> BOISDUVAL	ツマグロキチョウ
<i>E. (Terias) hecabe</i> LINNAEUS	キチョウ
<i>Pieris (Artogeia) melete</i> MÉNÉTRIÈS	スジグロシロチョウ
<i>P. (Artogeia) rapae</i> LINNAEUS	モンシロチョウ
<i>Anthocharis scolymus</i> BUTLER	ツマキチョウ
LYCAENIDAE	シジミチョウ科
<i>Narathura japonica</i> MURRAY	ムラサキシジミ
<i>Artapoetes pryori</i> MURRAY	ウラゴマダラシジミ
<i>Japonica lutea</i> HEWITSON	アカシジミ
<i>J. saepestriata</i> HEWITSON	ウラナミアカシジミ
<i>Antigius attilia</i> BREMER	ミズイロオナガシジミ
<i>Neozephyrus taxila</i> BREMER	ミドリシジミ
<i>Favonius orientalis</i> MURRAY	オオミドリシジミ
<i>Rapala arata</i> BREMER	トラフシジミ
<i>Lycaena phlaeas</i> LINNAEUS	ベニシジミ
<i>Taraka hamada</i> DRUCE	ゴイシジミ
<i>Lampides boeticus</i> LINNAEUS	ウラナミシジミ
<i>Pseudozizeeria maha</i> KOLLAR	ヤマトシジミ
<i>Zizina otis</i> FABRICIUS	シルビアシジミ
<i>Celastrina argiolus</i> LINNAEUS	ルリシジミ
<i>Everes argiades</i> PALLAS	ツバメシジミ
<i>Curetis acuta</i> MOORE	ウラギンシジミ
DANAIDAE	マダラチョウ科
<i>Parantica sita</i> KOLLAR	アサギマダラ

NYMPHALIDAE

Damora sagana DOUBLEDAY
Argynnis paphia LINNAEUS
Argyreus hyperbius LINNAEUS
Limenitis (Ladoga) glorifica FRUHSTORFER
L. (Ladoga) camilla LINNAEUS
Neptis sappho PALLAS

Polygonia c-aureum LINNAEUS
Nymphalis xanthomelas DENIS & SCHIFFERMÜLLER
Kaniska canace LINNAEUS
Cynthia cardui LINNAEUS
Vanessa indica HERBST
Hypolimnas bolina LINNAEUS
Dichorragia nesimachus BOISDUVAL
Hestina japonica C & R. FELDER
Sasakia charonda HEWITSON

タテハチョウ科

メスグロヒョウモン
 ミドリヒョウモン
 ツマグロヒョウモン
 アサマイチモンジ
 イチモンジチョウ
 コミスジ

キタテハ
 ヒオドシチョウ
 ルリタテハ
 ヒメアカタテハ
 アカタテハ
 リュウキュウムラサキ
 スミナガシ
 ゴマダラチョウ
 オオムラサキ

SATYRIDAE

Ypthima argus BUTLER
Minois dryas SCOPOLI
Lethe sicelis HEWITSON
Neope goshkevitschii MÉNÉTRIÈS
Mycalopsis gotama MOORE
M. francisca CRAMER

ジャノメチョウ科

ヒメウラナミジャノメ
 ジャノメチョウ
 ヒカゲチョウ
 サトキマダラヒカゲ
 ヒメジャノメ
 コジャノメ

HESPERIIDAE

Erynnis montanus BREMER
Daimio tethys MÉNÉTRIÈS
Choaspes benjaminii GUÉRIN-MÉNÉVILLER
Leptalina unicolor BLEMER & GREY
Thoressa varia MURRAY
Potanthus flavum MURRAY
Isoteinon lamprospilus C & R. FELDER
Polytremis pellucida MURRAY
Pelopidas mathias FABRICIUS
Parnara guttata BREMER & GREY

セセリチョウ科

ミヤマセセリ
 ダイミョウセセリ
 アオバセセリ
 ギンイチモンジセセリ
 コチャバネセセリ
 キマダラセセリ
 ホソバセセリ
 オオチャバネセセリ
 チャバネセセリ
 イチモンジセセリ

分布および生息状況

本調査で採集された蝶類は迷蝶を含む7科63種である。即ち、アゲハチョウ科 *Papilionidae* 9種、シロチョウ科 *Pieridae* 6種、シジミチョウ科 *Lycaenidae* 16種、マダラチョウ科 *Danaidae* 1種、タテハチョウ科 *Nymphalidae* 15種、ジャノメチョウ科 *Satyridae* 6種、セセリチョウ科 *Hesperiidae* 10種であった。

渡辺 (1942), 渡 (1929) らによれば、この他に6種の記録があるが、いずれも標本は未確認である。

半島内における蝶類の分布状況は次の通りである。

(1) 半島南部に限り採集確認されている蝶。

シルビアシジミ *Zizina otis* FABRICIUS

(2) 半島では稀であるが、半島北部に位置する横浜, 川崎, 多摩丘陵方面には比較的多くみられる蝶。

ミヤマカラスアゲハ *Papilio maackii* Ménétrières
 ツマグロキチョウ *Eurema (Nirmula) laeta* Boisdual
 ウラナミアカシジミ *Japonica saepestriata* Hewitson
 トラフシジミ *Rapala arata* Bremer
 スミナガシ *Dichorragia nesimachus* Boisdual
 オオムラサキ *Sasakia charonda* Hewitson
 アサマイチモンジ *Limentis (Ladoga) glorifica* Fruhstorfer
 ミドリヒョウモン *Argynnis paphia* Linnaeus
 メスグロヒョウモン *Damora sagana* Doubleday
 ホソバセセリ *Isoteinon lamprospilus* C. & Felder
 ギンイチモンジセセリ *Leptalina unicolor* Bremer & Grey

(3) 本調査では採集例がないが、文献に記録のある蝶。

クジャクチョウ *Inachis io* Linnaeus
 鎌倉市極楽寺。渡 (1929)
 メスアカムラサキ *Hypolimnas misippus* Linnaeus
 三浦市、葉山町。渡辺 (1942)
 ツマムラサキマダラ *Euploea mulciber* Cramer
 神武寺。渡辺 (1942)
 キベリタテハ *Nymphalis antiopa* Linnaeus
 鎌倉。渡辺 (1942)
 キマダラモドキ *Kirinia epaminondas* Staudinger
 鎌倉。渡辺 (1942)
 ミカドアゲハ *Graphium doson* C. & R. Felder
 横須賀市荒崎 (目撃)。酒井 (1969)

上記の6種については標本資料を再確認するとともに、今後の調査を要するものであり、今回の目録からは除外した。

以上の分布状況は次の様に説明される。

三浦半島の温帯照葉樹を主体とした暖地性の植生と、多摩丘陵型植生との境界線は追浜と鎌倉を結ぶ線付近にある。同時にこの地域は半島内では極めて稀であるが多摩丘陵方面においては少なくない蝶類、即ち前記したミヤマカラスアゲハ以下11種の分布境界域ともなっている。三浦半島の蝶相は一般に平凡であり、上記した蝶類の遺存的分布の他に温帯照葉樹、暖地性植物、海浜植物を食餌とする蝶類が主力であることにより特徴づけられる。

オオムラサキ等の分布状況は食餌、環境、気象要因を考慮しても説明できない点があるので今後の研究課題としたい。

三浦半島における個々の蝶の分布状況、発消長、生態については次の通りである。

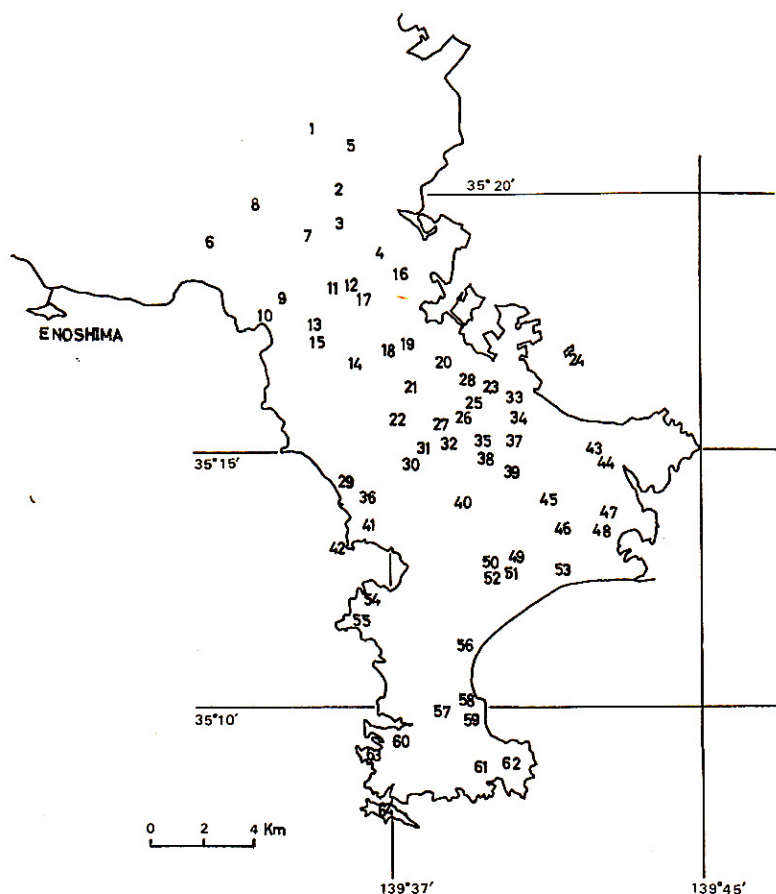


Fig. 3. Map showing the locality of the butterflies on Miura Peninsula

- Yokohama City 横浜市: 1. Enkai-zan 円海山 2. Kamariya-chō 釜利谷町 3. Asahina-chō 朝比奈町 4. Mutsuura-chō 六浦町 5. Rokkoku-toge 六国峠
 Kamakura City 鎌倉市: 6. Genji-yama 源氏山 7. Jūniso 十二所 8. Tenen 天園
 Zushi City 逗子市: 9. Hisagi 久木 10. Shinjuku 新宿 11. Ikego 池子 12. Jin-muji 神武寺 13. Sakurayama 桜山 14. Hutago-yama 二子山
 Hayama Sub-ward 葉山町: 15. Nagae 長柄
 Yokosuka City 横浜賀市: 16. Oppama-chō 追浜町 17. Takatori-yama 鷹取山
 18. Taura Ohsaku-chō 田浦大作町 19. Taura-chō 田浦町 20. Tsukayama-Park 塚山公園 21. Hatakeyama 畠山 22. Kikoba 木古庭 23. Shioiri-cho 汐入町 24. Sarushima 猿島 25. Sakamoto-chō 坂本町 26. Kanaya 金谷 27. Ikegami 池上 28. Hemichō 逸見町 29. Akiya 秋谷 30. Ohgusu-yama 大楠山 31. Abekura-chō 阿部倉町 32. Hirasaku 平作 33. Uwamachi 上町 34. Hujimi-chō 富士見町 35. Koyabe-chō 小矢部町 36. Ashina 芦名 37. Kugo-chō 公郷町 38. Kinugasa-park 衣笠公園 39. Morisaki 森崎 40. Kinugasa-chō 衣笠町 41. Sajima 佐島 42. Tenjin-jima 天神島 43. Mabori 馬堀 44. Uruga-chō 浦賀町 45. Sawara 佐原 46. Kumura 久村 47. Kubiri 久比里 48. Kurihama 久里浜 49. Nagasawa 長沢 50. Take-yama 武山 51. Fujisan 富士山 52. Tsukui 津久井 53. Nobi 野比 54. Nagai 長井 55. Arasaki 荒崎 56. Miura-kaigan 三浦海岸
 Miura City 三浦市: 57. Hikihashi 引橋 58. Hiruda 蛭田 59. Kaneda 金田 60. Moroiso 諸磯 61. Bishamon 毘沙門 62. Matsuwa 松輪 63. Aburatsubo 油壺 64. Jōgashima 城ヶ島

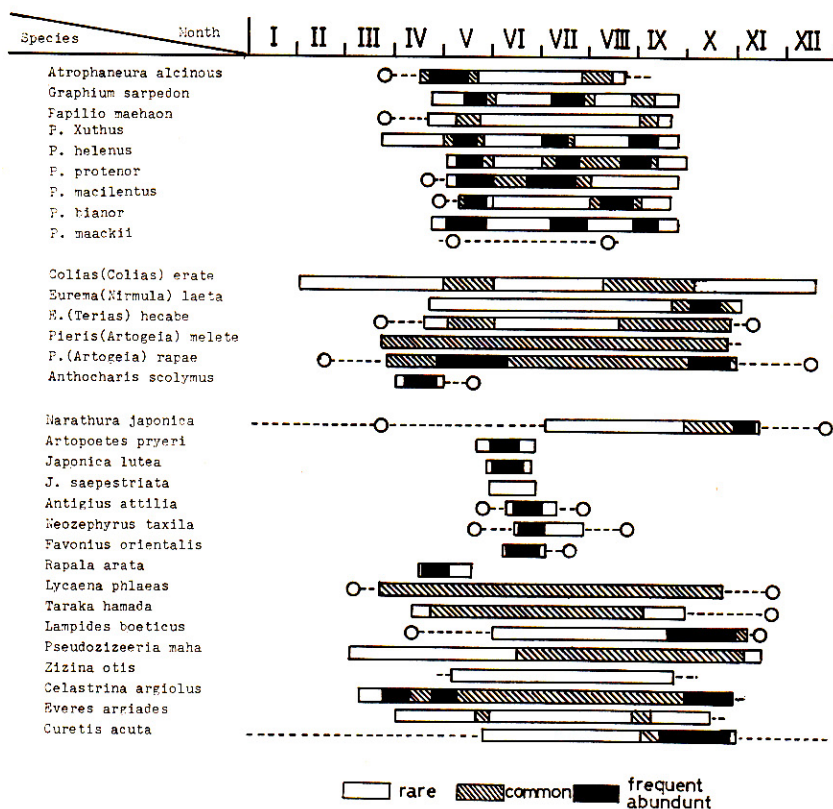


Fig. 4. The butterflies of seasonal prevalence on the Miura Peninsula

アゲハチョウ科 PAPILIONIDAE

1. ジャコウアゲハ *Atrophaneura alcinous* KLUG

横須賀市 池田町 YCM-I. 2433 (1) 21. IV. 1961; 前田川 YCM-I. 3788 (2) 20. V. 1976;
衣笠 YCM-I. 3612, 3619. (2♂) 21. V. 1955; 佐原 YCM-I. 3698, 3744 (2) 2. VI. 1961;
久里浜 YCM-I. 2323 (1) 26. VII. 1956; 坂本町 YCM-I. 3674 (1) 20. VIII. 1957; 武山
MBC-3-14 (1♀) 29. IV. 1972。

*安針塚 K. N (2♂) 29. IV. 1966; 鷹取山 M. N. (1♀) 2. VI. 1967。

三浦市 引橋 YCM-I. 3784 (1) 20. V. 1976。

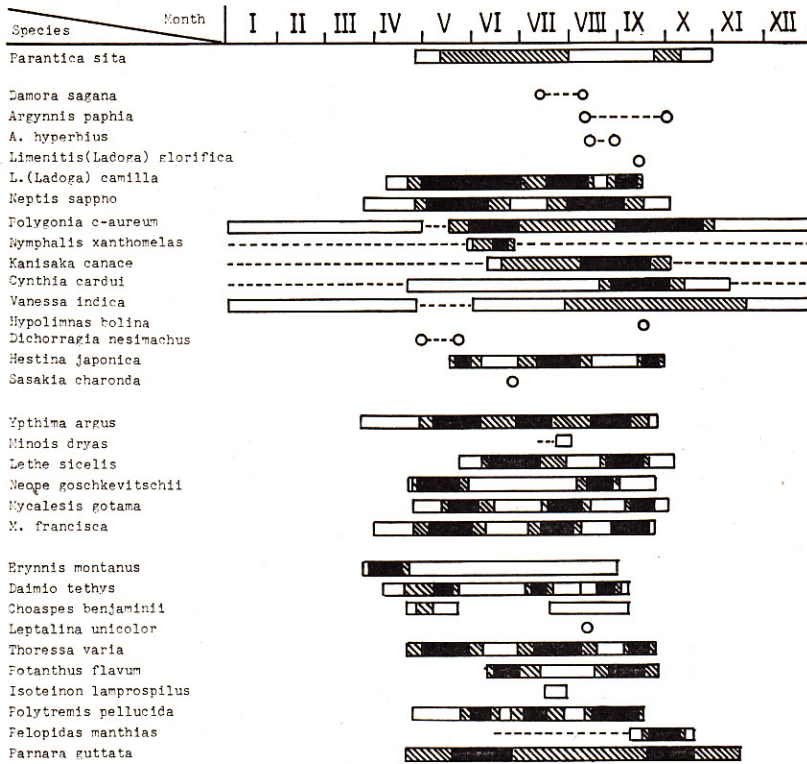
逗子市 神武寺 YCM-I. 3736 (1) 6. V. 1956。

*桜山 M. N (3♀) 11. IV. 1954; 二子山 M. N (2♂) 21. IV. 1968。

鎌倉市 十二所 YCM-I. 3819 (1♂) 7. V. 1976。

横浜市長沢区 *朝比奈町 S. N (2♀) 1. VIII. 1965; 六浦町 T. K (2♀) 30. IV. 1973; 釜利
谷町 M. N (4♂, 1♀) 30. IV. 1971。

分布型: 1-a. 4月中旬から8月中旬まで連続して記録されており, 9月下旬に3化と考えられる記録がある。幼虫の食草はオオバウマノスズクサ *Aristolochia Kaempferi* WILLD, ウマノスズクサ *A. debilis* SIEB. et ZUCC. であるが, 後者は三浦半島では多くない。4月下旬から5月上旬が最盛期であり, 以後は順次個体数を減ずる。丘陵地隣縁に多く, ツツジ, クサギ等の花に飛来し吸蜜する。蝶道をつくる。



2. アオスジアゲハ *Graphium sarpedon* LINNAEUS

横須賀市 田浦 YCM-I. 54 (1) 1. V. 1969; 上町 YCM-I. 43 (1) 2. V. 1970; YCM-I. 50 (1) 26. IV. 1970; YCM-I. 42 (1) 21. VI. 1970; 鷹取山 YCM-I. 55, 56 (2) 20. V. 1966; YCM-I. 3695 (1) 3. VII. 1955; 衣笠公園 YCM-I. 2324 (1) 25. V. 1954; 佐原 YCM-I. 3697 (1) 2. VI. 1961; 天神島 YCM-I. 938 (1) 7. IX. 1975; 野比 MBC-3-15 (1♀) 9. V. 1971. *武山 T.K (1♂, 1♀) 3. VIII. 1973; S.N (1♀) 5. IX. 1965; K.N (1♂, 1♀) 24. IX. 1973. 逗子市 神武寺 YCM-I. 3737, 3738 (2) 6. V. 1956; *二子山 H.S (1) 29. IV. 1969. 横浜市金沢区 *朝比奈町 S.N (1♂) 18. VII. 1965; 六浦町 M.N (1♂) 23. VII. 1971; 釜利谷町 M.N (1♂) 2. VI. 1971.

分布型: I-a. 4月下旬より9月下旬まで記録があり, 5月中旬, 7月中旬そして9月上旬に各々最盛期が認められる。7月の最盛期において発生個体数は最多となる。タブノキ *Machilus Thunbergii* SIEBOLD et ZUCCARINI, クス *Cinnamomum Camphora* SIEB., ヤブニッケイ *Cinnamomum japonicum* SIEB. 等の照葉樹の葉に産卵し, 幼虫は食樹の新芽を食する。学校, 神社, 寺, 丘陵地斜面等の照葉樹林に多く発生し, 6月~8月に幼虫は多くみられる。稀に幼虫生息密度が異常に高くなり, 食樹全体の葉が全て食害された例もある。

ダイコン, ネギ, ヤブカラシに訪花し吸蜜する。雨水の他, 砂浜にて海水を吸水した例もある。樹冠付近で縄張り (territory) が認められ, 特に春季において顕著である。互にからみ合うことが多く, 稀に小鳥を追った例も観察されている。幼虫期における寄生蜂, 寄生バエ等による寄生率は高い。蛹で越冬する。食樹との関係から, 東京方面には少なく, 三浦半島に多い蝶といえる。

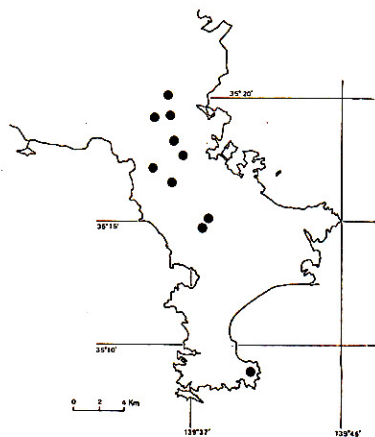


Fig. 5-1. Distribution map of *Papilio macilentus* オナガアゲハ

(●: 採集記録 ○: 目撃, 文献記録, その他)

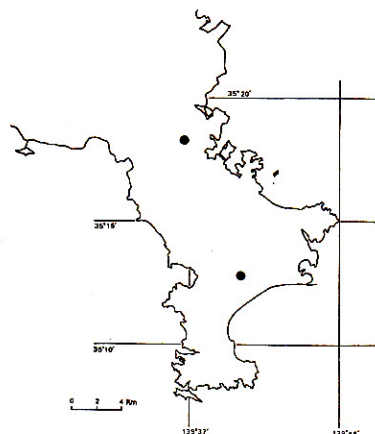


Fig. 5-2. Distribution map of *Papilio maackii* ミヤマカラスアゲハ

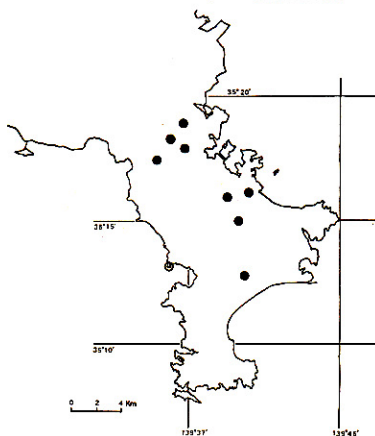


Fig. 5-3. Distribution map of *Eurema (Nirmula) laeta* ツマグロキチョウ

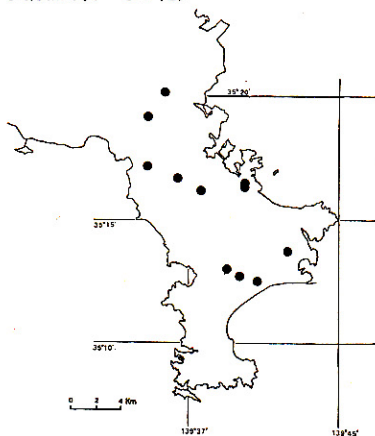


Fig. 5-4. Distribution map of *Anthocharis scolymus* ツマキチョウ

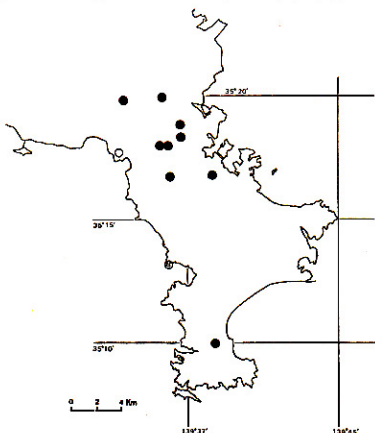


Fig. 5-5. Distribution map of *Narathura japonica* ムラサキシジミ

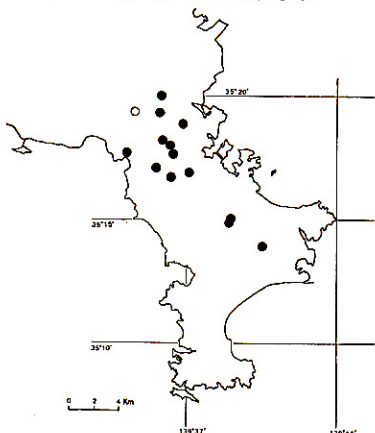


Fig. 5-6. Distribution map of *Artopoes pryeri* ウラゴマダラシジミ

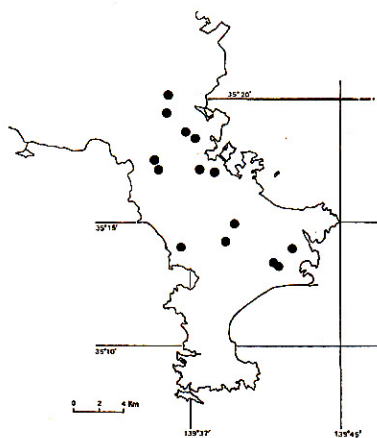


Fig. 5-7. Distribution map of *Japonica lutea* アカシジミ

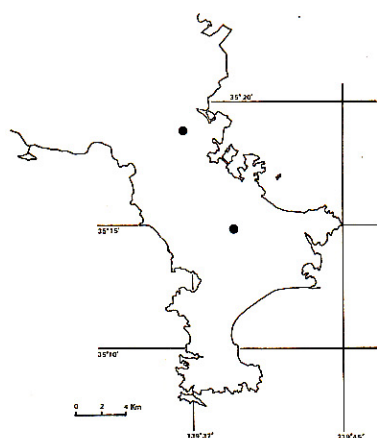


Fig. 5-8. Distribution map of *Japonica saepestrata* ウラナミアカシジミ

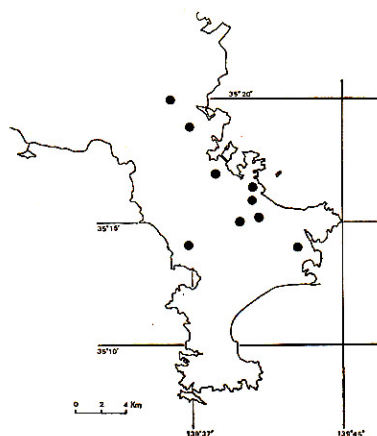


Fig. 5-9. Distribution map of *Antigonus attilia* ミズイロオナガシジミ

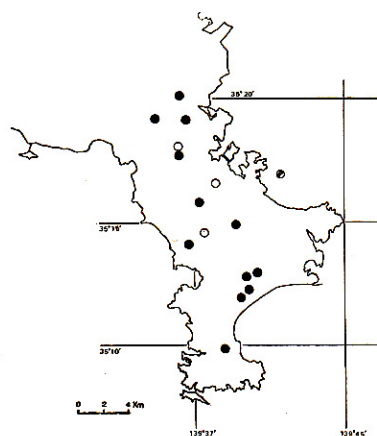


Fig. 5-10. Distribution map of *Neozephyrus taxila* ミドリシジミ

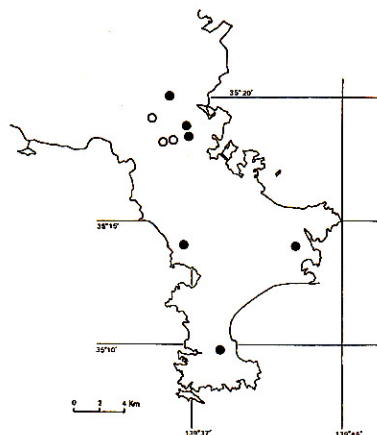


Fig. 5-11. Distribution map of *Favonius orientalis* オオミドリシジミ

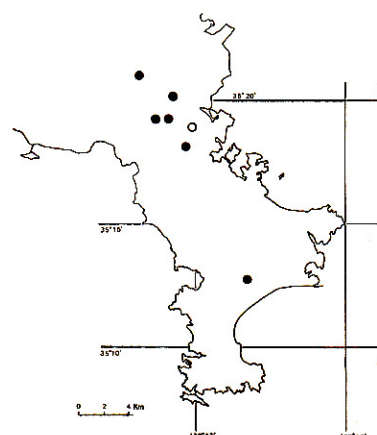


Fig. 5-12. Distribution map of *Rapala arata* トラフシジミ

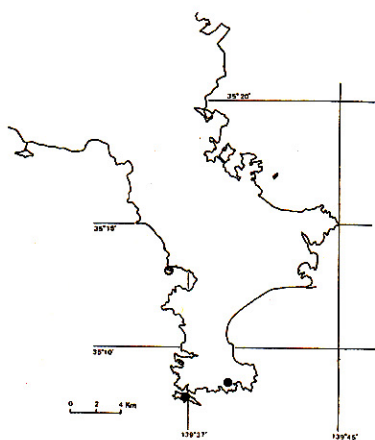


Fig. 5-13. Distribution map of *Zizina otis* シルビアシジミ

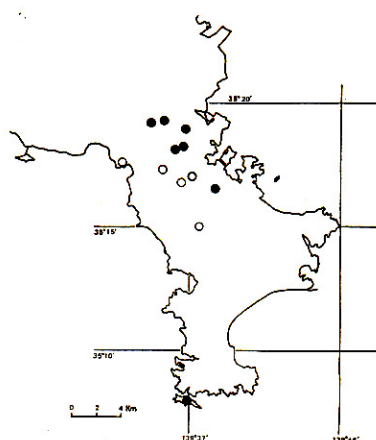


Fig. 5-14. Distribution map of *Parantica sita* アサギマダラ

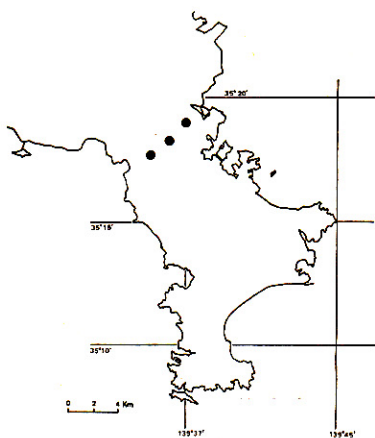


Fig. 5-15. Distribution map of *Damora sagana* メスグロヒョウモン

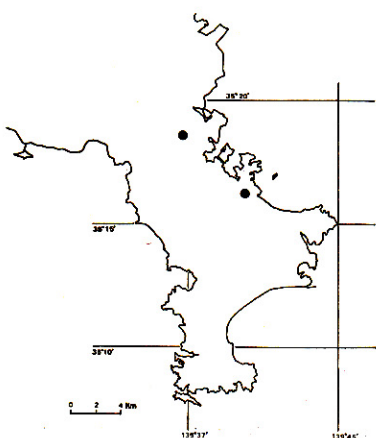


Fig. 5-16. Distribution map of *Argynnis paphia* ミドリヒョウモン

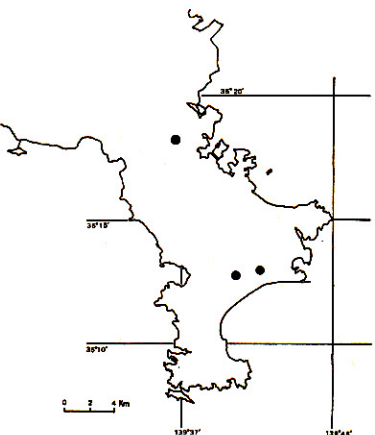


Fig. 5-17. Distribution map of *Argyreus hyperbius* ツマグロヒョウモン

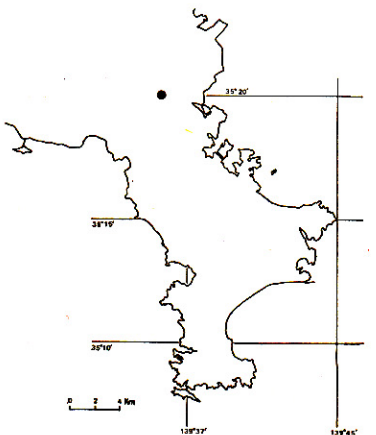


Fig. 5-18. Distribution map of *Limenitis (Ladoga) glorifica* アサマイチモンジ

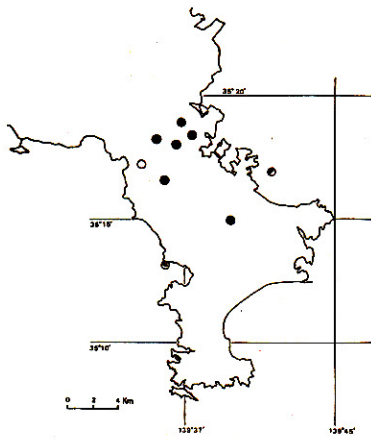


Fig. 5-19. Distribution map of *Nymphalis xanthomelas* ヒオドシチョウ

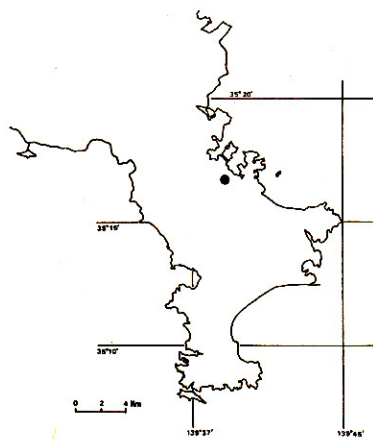


Fig. 5-20. Distribution map of *Hypolimnas bolina* リュウキュウムラサキ

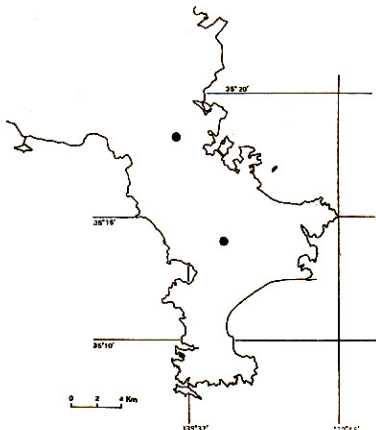


Fig. 5-21. Distribution map of *Dichoragia nesimachus* スミナガシ

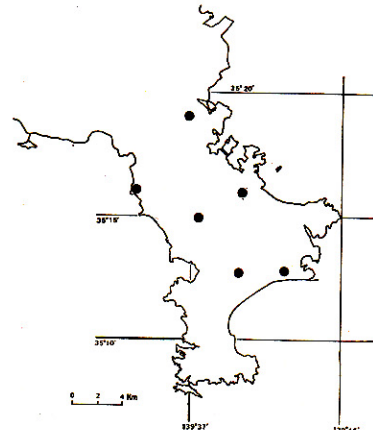


Fig. 5-22. Distribution map of *Hestina japonica* ゴマダラチョウ

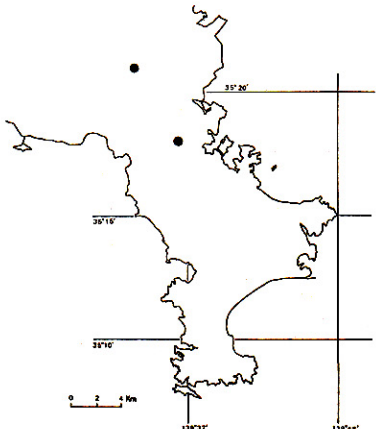


Fig. 5-23. Distribution map of *Sasaia charonda* オオムラサキ

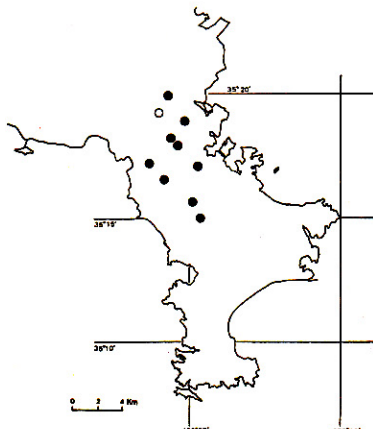


Fig. 5-24. Distribution map of *Erynnis montanus* ミヤマセセリ

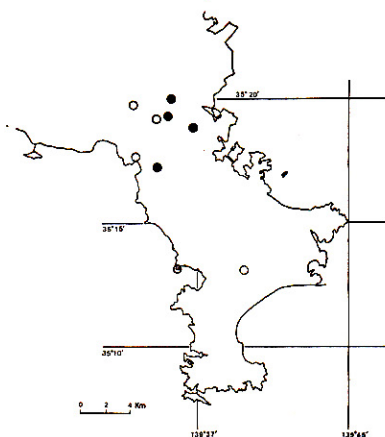


Fig. 5-25. Distribution map of *Choa-spes benjaminii* アオバセセリ

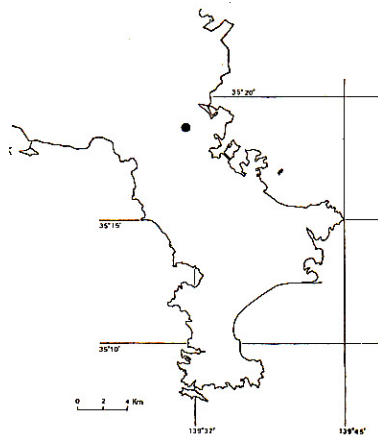


Fig. 5-26. Distribution map of *Leptolina unicolor* ギンイチモンジセセリ

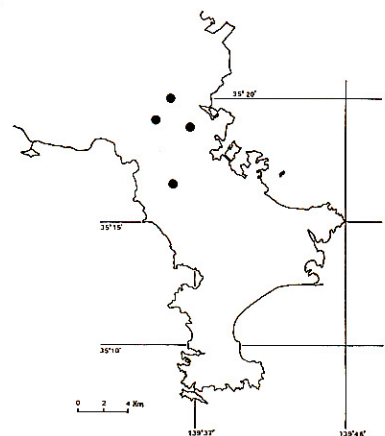


Fig. 5-27. Distribution map of *Isoteinon lamprospilus* ホソバセセリ

3. キアゲハ *Papilio machaon* LINNAEUS

横須賀市 大楠山 YCM-I. 2338, 2665 (2) 23. VIII. 1955; 前田橋 YCM-I. 2436 (1) 28. IX. 1969; 天神島 YCM-I. 939 (1) 7. IX. 1975; 上町 MBC-3-3 (1♂) 24. VII. 1971; 野比 MBC-3-2 (1♂) 20. VI. 1971; *衣笠山 H.I (1♀) 21. III. 1954; 武山 T.K (1♂) 29. IV. 1972; 安針塚 K.N (1♂) 23. V. 1966。

三浦市 *引橋 M.N (4♂) 4. IX. 1973。

逗子市 *二子山 K.N (1) 5. V. 1966; 桜山 H.I (1) 26. 111. 1953。

鎌倉市 *天園 K.N (2♂) 20. IX. 1964。

横浜市金沢区 *六浦町 T.K (1♂, 1♀) 7. IV. 1973; 釜利谷町 M.N (4♂) 28. VIII. 1971; 朝比奈町 M.N (1) 17. VI. 1967。

分布型: I-a. 4月中旬より9月下旬まで記録があり, 5月上旬, 7月上旬そして8月下旬~9月上旬に各々最盛期が認められる。

春型は5月下旬までみられ, 以後は夏型が多くなる。幼虫はアシタバ *Angelica Keiskei* KOIDZUMI, ハマボウフウ *Phellopterus littoralis* BENTH et HOOK 等の海岸性植物の他, セリ, *Oenanthe stolonifera* DC, ニンジン, パセリそして稀に植栽されたミカン等を食餌植物とする。海岸, 平地に多く, 人家に入りこむこともある。ツツジ, ユリの他, 各種の花に飛来し吸蜜する。

武山各地の山頂付近で縄張を有することが観察されている。異常型が得られている (Pl. 1-1)。

4. アゲハ *Papilio xuthus* LINNAEUS

横須賀市 久里浜 YCM-I. 3742 (1) 24. III. 1956; 佐原 YCM-I. 2662 (1) 21. IV. 1956;
衣笠公園 YCM-I. 3618 (1) 29. IV. 1954; 坂本町 YCM-I. 3743 (1) 8. VII. 1955; 上町
YCM-I. 2428 (1) 7. X. 1962; MBC-3-1 (1) 16. V. 1971; *鷹取山 S.N (2) 9. V. 1965;
武山 K.N (5♀) 30. VIII. 1965; 安針塚 K.N (1) 23. V. 1967.
葉山町 *長柄 H.I (1♀) 31. X. 1954.
逗子市 神武寺 YCM-I. 3729-3733 (5) 6. V. 1956; *二子山 T.A (2) 2. VI. 1969; 桜山 H.I
(1♀) 26. III. 1953.
鎌倉市 *十二所 T.K (1♂) 23. IX. 1972; 天園 K.N (1♂) 6. IX. 1964.
横浜市金沢区 *六浦町 M.N (1) 2. IV. 1969; 釜利谷町 T.K (1♂, 1♀) 3. V. 1973; 朝比奈
町 M.N (1♂, 1♀) 30. IV. 1973.

分布型: I-a. 3月下旬より9月下旬まで記録があり, 4月下旬, 6月下旬, 8月上旬そして9月上旬
に比較的多くみられるが, 発生は連続的であり, 化性の境は明瞭でない。カラスノサンショウ *Fa-*
gara ailanthoides ENGL. サンショウ *Xanthoxylum piperitum* DC, カラタチ *Poncirus trifo-*
liata RAFIN. そして植栽されたミカン等を食樹とする。人家周辺, 林縁に多くみられ半島内全域に
分布する。

ヒガンバナ, ツツジ等の花に飛来し吸蜜する。吸水例があるが多くない。蝶道をつくるとともに山
頂占有性が認められるが, その程度はキアゲハより弱い。夏季に幼虫の寄生蜂, 寄生バエ等による寄生
率は高い。三浦半島では最も普通にみられる種である。

5. モンキアゲハ *Papilio helenus* LINNAEUS

横須賀市 鷹取山 YCM-I. 2348 (1♀) 1. V. 1954; 衣笠公園 YCM-I. 3634, 3638 (2) 20. V.
1956; 田浦 YCM-I. 13 (1) 7. VI. 1971; YCM-I. 7-10 (4) 8. VIII. 1971; 天神島 YCM-I.
1. 940 (1) 7. IX. 1975; 上町 MBC-3-9 (1♂) 9. V. 1971; MBC-3-12 (1♀) 17. VII. 1975;
野比 MBC-3-13 (1♂) 9. V. 1971; *武山 K.N (1♀) 24. IX. 1973; 安針塚 K.N (1♂) 23.
V. 1967.
葉山町 新沢 YCM-I. 15 (1) 25. VIII. 1953.
逗子市 神武寺 YCM-I. 3735 (1) 6. V. 1956; *桜山 H.I (1♀) 25. IV. 1954; 二子山 T.A
(2) 23. VII. 1969.
鎌倉市 覚園寺 YCM-I. 883 (1♂) 20. IX. 1975; *十二所 M.N (1♂) 23. IX. 1972.
横浜市金沢区 六浦町 M.N (1♂) 28. VII. 1970; 釜利谷町 T.K (1♂, 1♀) 3. V. 1973; 朝比
奈町 M.N (4♀) 17. IX. 1967.

分布型: I-a. 5月上旬より10月中旬までみられ, 5月中旬に1化, 7月中旬より9月下旬に2化が
みられる。5月に発生し6月はやや少なく, 7月中旬に再び発生し始めて, 8月下旬~9月上旬に大き
な最盛期となる。

鷹取山以北, 更に横浜に至っては稀にみられる程度となる。食草はカラスノサンショウ *Fag-*
ara ailanthoides ENGL. であるがミカンも食する。半島全域にみられ, クサギの花の満開時には雌雄共
に飛来し, 同一の木に数頭を目撃した例がある。ヒガンバナ, ツツジに訪花する。吸水例がある。

Pl. 1-2 に示す斑紋異常型を得ている。

三浦半島産の個体は他産地の個体に比較して, 大型である。食餌によるものか, 遺伝的な結果によ
るものかは不明であり, 今後の研究課題としたい。蝶道は明瞭であり, 林縁を好む。半島内で最大種
であり, 個体数も多いことから, 三浦半島を代表する蝶と言える。

6. クロアゲハ *Papilio protenor* CRAMER

横須賀市 田浦 YCM-I. 115 (1♂) 20. IV. 1971; YCM-I. 86 (1) 1. V. 1969; YCM-I. 96,
104 (2) 17. VI. 1971; 鷹取山 YCM-I. 88 (1) 10. V. 1966; 衣笠公園 YCM-I. 3640 (1)
20. V. 1956; 大楠山 YCM-I. 2340 (1) 23. VIII. 1955; 天神島 YCM-I. 941 (1) 7. IX.

1975; 上町 MBC-3-4 (1♂) 22. V. 1971; MBC-3-5 (1♀) 18. VII. 1975; *武山 K.N (1♂) 5. IX. 1965; S.N (1♂) 24. IX. 1973; 安針塚 K.N (1♂) 23. V. 1967.
 逗子市 *桜山 H.I (1♂) 11. IV. 1954; 二子山 T.A (1) 20. VI. 1969.
 鎌倉市 十二所 YCM-I. 2435 (1♀) 8. VII. 1962; *天園 K.N (2♂) 23. V. 1965.
 横浜市金沢区 *釜利谷町 T.K (4♂) 3. V. 1973.

分布型: I-a. 4月下旬より9月下旬までみられ, 5月中旬に第1回の最盛期が認められる。7月上旬以後順次個体数を増すが最盛期は不明瞭である。1化は2化に比較するとやや小型であり, 発生数も少ない。半島全域に分布し, 丘陵地, 海岸付近までみられることがある。発生はアゲハチョウより遅れる。

カラタチ, サンショウ, カラスノサンショウ, ミカン等を食樹とし, 林道, 沢沿の林縁に多くみられる。照葉樹林には少なく, 丘陵に隣接した人家や林縁の食樹で多く発生する。ツツジ, クサギ, ウツギ, ザクロ, ユリ等に訪花する。吸水例がある。

横須賀市上町および横浜市金沢区六浦町にて無尾型 (Pl. 1-3) が記録されている。明瞭な蝶道をつくるが山頂占有性は特にみられない。

7. オナガアゲハ *Papilio macilentus* JANSON

横須賀市 大楠山 YCM-I. 2342 (1) 7. VIII. 1956; *阿部倉 M.N (1♂) 5. V. 1974.
 三浦市 *松輪 Y.S (1) 15. IX. 1966.
 葉山町 長柄 YCM-I. 3782, 3822 (2) 10. V. 1976.
 逗子市 神武寺 YCM-I. 3734 (1) 6. V. 1956; *二子山 T.K (1♂, 1♀) 29. IV. 1969; T.A (1♂) 31. VIII. 1969.
 鎌倉市 十二所 YCM-I. 970 (1) 4. V. 1976.
 横浜市金沢区 *釜利谷町 T.K (2♂) 12. V. 1970; 朝比奈町 K.N (1♀) 19. IX. 1964.

分布型: III-b. 4月下旬より, 9月中旬までみられ5月中旬, 8月中旬に各々最盛期が認められる。第1化は6月中旬までみられ, 春型は個体数が少なく, 夏型より小型である。

コクサギ *Orixa japonica* THUNB. を食樹とするが, 幼虫の発見例は多くない。

丘陵地の沢沿に多く, 海岸や人家密集地にはみられない。分布は偏在するが, 発生地における個体数は少なくない。

クサギ, ツツジに訪花する。吸水例がある。

葉山町森戸川上流地域に比較的多くみられる。沢沿の林縁に蝶道をつくる。分布記録は半島南部になるに従い少なくなり, 大楠山までの記録がある。生息環境を考慮すると武山付近にも生息可能と思われるので今後調査を進めたい。

8. カラスアゲハ *Papilio bianor* CRAMER

横須賀市 衣笠 YCM-I. 2350 (1) 24. IV. 1954; 鷹取山 YCM-I. 3728 (1) 25. IV. 1954; 田浦 YCM-I. 75 (1♂) 28. IV. 1971; YCM-I. 62 (1♂) 29. V. 1970; 坂本町 YCM-I. 3678 (1♂) 20. VIII. 1957; 上町 MBC-3-7 (1) 16. V. 1971; 武山 MBC-3-8 (1) 29. IV. 1972; *K.N (1♀) 24. IX. 1973; 公郷 H.I (1♂) 15. IV. 1954; 阿部倉 M.N (1♂) 5. V. 1974; 安針塚 K.N (1♂) 16. V. 1965.
 葉山町 長柄 YCM-I. 61 (1♂) 20. IV. 1970.
 逗子市 神武寺 YCM-I. 3726, 3727 (2♂) 6. V. 1956; *二子山 T.K (3♂) 29. IV. 1969.
 鎌倉市 *天園 K.N (1♂, 1♀) 23. V. 1965.
 横浜市金沢区 *六浦町 S.N (1♂) 16. VI. 1965; M.T (1♀) 3. IX. 1968; 釜利谷町 T.K (2♂) 3. V. 1973; 朝比奈町 K.N (1♂) 18. VII. 1965.

分布型: I-a. 4月下旬より9月下旬までみられ, 5月中旬, 7月中旬, 9月上旬に各々最盛期が認められる。第1化は最も多く, その最盛期はツツジの開花期に一致し, 第2化はクサギの開花期に一致する。2化以後は順次個体数が減少する。カラスノサンショウ, サンショウ, コクサギ等を食樹とし

卵、幼虫が確認されている。半島内では特にカラスノサンショウに多い。丘陵谷合に多く、海岸、住宅地には少ない。山頂でみられることもあるが山頂占有性は認められない。ツツジ、クサギに訪花する。

春、夏の各季節型がある他、緑、青、黄橙色（早に多い）の型がある。分布は武山まで確認されている。

9. ミヤマカラスアゲハ *Papilio maackii* MÉNÉTRIÈS

横須賀市 *武山 T.K. M.T (2♂) 3. V. 1969.

逗子市 *神武寺 T.K (1♂) 13. VIII. 1958.

分布型: III-c. 半島内では上記の2記録があるのみである (Pl. 1-4). 個体の破損状態から推察すると、春季は4月下旬より、夏季は7月下旬より各々発生するものと考えられる。

本種は不活発であることから飛翔行動範囲が狭く、半島内に土着している可能性があるものと考えられる。今後、二子山、釜利谷地区等における調査を要する。キハダ *Phellodendron amurense* RUPR. を食樹とすることから、大楠山にも生息している可能性がある。半島近縁地域では横浜市南区八幡町で小寺 (1956) により 1♂ が 1955年9月20日に採集されている。

シロチョウ科 PIERIDAE

10. モンキチョウ *Colias (Colias) erate* ESPER

横須賀市 衣笠 YCM-I. 2367 (1) 11. IV. 1954; 上町 YCM-I. 2438 (1) 6. X. 1962; MBC-3-19 (1♂) 13. VI. 1971; 野比 MBC-3-20 (1♀) 31. VII. 1971; 大滝町 MBC-2-18 (1) 29. X. 1967; *金谷 H.I (1♀) 24. II. 1955; 公郷 H.I (1♂) 2. III. 1955; 大楠山 M.T (1♂) 27. III. 1969; 武山 K.N (1) 30. VIII. 1965.

逗子市 *二子山 K.N (1♂) 5. V. 1966; T.K (1♀) 15. XII. 1968.

鎌倉市 *十二所 N.O (1♂) 23. IX. 1972.

横浜市金沢区 *六浦町 M.T (1♂) 11. VIII. 1968; 朝比奈町 K.N (1♂, 1♀) 25. VII. 1965; 釜利谷町 K.N (1♂) 11. IV. 1965.

分布型: I-a. 3月中旬より12月中旬までみられ、5月と9~10月には特に多い。成虫越冬のため冬期を除き普通にみられる。幼虫はカラスノエンドウ *Vicia sativa* L., ニセアカシア *Robinia pseudo-Acacia* L. 等を食し、海辺にも多い。また崖地（人為的造成による桂台、鷹取団地、逗葉新道）に植栽されたシロツメクサ、休耕田のレンゲに多い。半島全域に分布して耕作地域で普通にみられる。タンポポ、アカツメクサ、シロツメクサに訪花する。

11. ツマグロキチョウ *Eurema (Nirmula) laeta* BOISDUVAL

横須賀市 坂本町 YCM-I. 2441 (1) 25. VII. 1961; 衣笠 YCM-I. 2381. 11. IV. 1954; 上町 MBC-3-23 (1) 12. IX. 1971.

逗子市 桜山 YCM-I. 2378 (1) 1. IV. 1954; *神武寺 M.N (1♂) 21. IX. 1969.

横浜市金沢区 *六浦町 S.N (1♂) 1. IX. 1964; K.N (2♂) 10. X. 1964; 釜利谷町 M.N (1♂) 26. X. 1969.

この他に石黒 (1974) によれば横須賀市天神島で、また、鈴木 (1963) によれば横浜市六国峠で各々記録されている。

分布型: III-c. 4月上旬より10月下旬までみられ、春季、夏季は記録が少ない。半島中北部に分布し、食草の関係のためか、発生地は局所的である。個体数は極めて少ない。荒地、丘陵地の周縁に生息し、カワラケツメイ *Cassia mimosoides* L. var. *nomame* MAKINO を食していると考えられる。カワラケツメイは半島内に自生しているが少なく、大群落はみられない。半島以外の近縁地域では渋谷 (1974) が川崎にて記録している。

12. キチョウ *Eurema (Terias) hecabe* LINNAEUS

横須賀市 大楠山 YCM-I. 3748, 3749 (2) 7. IV. 1955; 塚山公園 YCM-I. 2372 (1) 18. VIII. 1959; 鷹取山 YCM-I. 2375 (1) 24. IX. 1955; 田浦 YCM-I. 213-244 (32) 10. IX. 1971; 公郷 YCM-I. 2440 (1) 6. X. 1962; 上町 MBC-3-21 (1♂) 27. VIII. 1971; 追浜 MBC-3-22 (1) 11. IX. 1971; 大滝町 MBC-2-20 (1) 29. X. 1967; *衣笠山 H.I (1♂) 8. I. 1954; 武山 K.N (1♂, 1♀) 5. IX. 1965; **浦賀 H.I (1) 10. XII. 1954.
逗子市 沼間 YCM-I. 3772 (1) 6. IV. 1961; 二子山 YCM-I. 2375 (1) 5. IV. 1954; *H.S (1) 5. V. 1968; T.K (1) 2. VI. 1968; **桜山 H.I (1♀) 23. XI. 1957.
鎌倉市 覚園寺 YCM-I. 885, 886 (1♂, 1♀) 20. IX. 1975; *半僧坊 H.I (1♂) 23. II. 1954.
横浜市金沢区 *六浦町 H.S (1♂) 25. III. 1969; S.N (1♂) 22. VII. 1964; M.T (1) 3. XI. 1968; 朝比奈町 S.N (1♂) 1. VIII. 1965; 釜利谷町 M.N (1♂) 15. IX. 1971.

分布型: I-a. 3月中旬より11月上旬までみられ, 5月, 7月, 8~10月にそれぞれ多くみられる。特に秋季は最も多く, 人家付近にみられる。夏型は5月下旬からみられ, 9月中旬に秋型へ変わる。秋季に鮮度が良好な個体と不良な個体が同時に記録されていることから, これらの個体は秋型の生き残りであるのか, 又は蛹で越冬した個体であるのか検討の余地がある。ネム, ハギ, ニセアカシア等のマメ科植物に産卵する。

三浦半島では成虫越冬するために, 冬季であっても, 温暖な日には時折目撃することがある。人家の垣根や枯ススキ等で越冬する。成虫は集団で吸水又は汚物の汁を吸うことがある。ハギ等の広範囲にわたる植物に訪花する。卵, 幼虫がネムより発見されている。

13. スジグロシロチョウ *Pieris (Artogeia) melete* MÉNÉTRIÈS

横須賀市 安針塚 YCM-I. 2414 (1) 15. III. 1959; 大楠山 YCM-I. 2405 (1) 21. III. 1954; 坂本町 YCM-I. 3751 (1) 2. IV. 1955; 衣笠 YCM-I. 2406 (1♂) 11. IV. 1954; 久里浜 YCM-I. 3663 (1) 17. IV. 1961; 前田川 YCM-I. 3837 (1) 20. V. 1976; 上町 YCM-I. 2443, 2444 (2) 23. VII. 1961; *武山 (1♂) 24. IX. 1973.
三浦市 引橋 YCM-I. 973 (1) 16. VII. 1977.
逗子市 沼間 YCM-I. 2407 (1♂) 26. III. 1954; 神武寺 (2) 20. VI. 1976; *二子山 (1) 2. VI. 1969; **桜山 H.I (1♀) 3. XI. 1953.
鎌倉市 十二所 YCM-I. 877-880 (4) 12. IV. 1977.
横浜市金沢区 *六浦町 S.N (2♂) 13. III. 1967; K.N (1♂) 13. IX. 1964; 釜利谷町 T.K (2♀) 16. X. 1969; 六国峠 M.T (1♂) 19. IV. 1969.

分布型: I-a. 3月中旬より11月下旬までみられ, 4~5 化性と考えられる。春季に個体数は多く, 夏季には減少し秋季に再び増加する。イヌガラシ *Rorippa indica* HIERN, ナズナ *Capsella Bursa-pastoris* MEDICUS 等の十字花植物を食餌とし, 山間の草地, 耕作地にみられる。

ナノハナ等に訪花し吸蜜する。吸水例がある。

半島内全域に分布し, 平地, 丘陵地のいづれにも多い。モンシロチョウと共に混生しているが, 最近では本種の個体数が増加している。

14. モンシロチョウ *Pieris (Artogeia) rapae* LINNAEUS

横須賀市 安針塚 YCM-I. 2397 (1) 15. III. 1959; 衣笠 YCM-I. 2394, 2395 (2) 15. III. 1954; 大楠山 YCM-I. 3662 (1) 23. III. 1961; 上町 YCM-I. 2442 (1) 10. VIII. 1961; 猿島 YCM-I. 975 (1) 8. VII. 1977; *芦名 M.N (1♂, 1♀) 21. III. 1974.
三浦市 *初声 Y.S (1) 12. II. 1966.
逗子市 神武寺 YCM-I. 3805 (1) 20. VI. 1976; *二子山 T.K (1♀) 15. XII. 1968.
鎌倉市 十二所 YCM-I. 957 (1) 18. IV. 1976.
横浜市金沢区 *六浦町 M.N (1♂) 7. III. 1970; T.A (1) 4. V. 1969; M.N (3) 9. VII. 1967; S.N (1♂, 1♀) 22. IX. 1964; MT (1) 7. XI. 1968; 釜利谷町 M.N (4♂, 9♀) 26. X. 1969; 六国峠 T.A (1) 28. III. 1970.

分布型: I-a. 3月上旬から12月中旬までみられるが, 4月中旬, 5月中~下旬, 10月中旬に各々多く発生する。春型は明瞭に識別できて, 秋季には小型の個体が発生する。年 4~5 化と考えられ, 夏季には個体数が減少する。キャベツ *Brassica oleracea* L. var. *capitata* L., ダイコン *Raphanus sativus* L. var. *acanthiformis* MAKINO, カブ *Brassica campestris* L., 等の栽培および野生の十字花植物を食草とする。半島内全域にわたり分布し, 三浦ダイコン等の栽培耕地が多い半島南部には多く発生する。サクラ, タンポポの他十字花植物に訪花し吸蜜する。

15. ツマキチョウ *Anthocharis scolymus* BUTLER

横須賀市 畠山 YCM-I. 2417, 2418 (2) 10. IV. 1955; 野比 MBC-3-26 (1) 8. IV. 1973; 大滝町 MBC-2-23 (1) 20. IV. 1968; 上町 MBC-3-24 (1♂) 13. IV. 1972; *安針塚 K.N (1♂) 17. IV. 1966; 久里浜 T.A (1♀) 21. IV. 1974。

逗子市 桜山 YCM-I. 2423 (1) 11. V. 1954; *H.I (1♂) 27. III. 1951; 二子山 M.N (3♂) 31. III. 1968。

鎌倉市 十二所 YCM-I. 881 (1♂) 12. IV. 1977。

横浜市長沢区 *釜利谷町 T.K (1♂) 19. IV. 1966; 六国峠 T.K (4♂) 19. IV. 1969。

分布型: II-c. 4月上旬より5月下旬までみられ, 4月中旬に最盛期が認められる。半島内全域に分布し, 丘陵地の谷間や耕作地の周縁に多い。森戸川上流, 前田川上流には多く発生する。年により出現期に変動がある。

ヤマハタザオ *Arabis nipponica* BOISS, タネツケバナ *Cardamine flexuosa* WITHERING, ダイコン, ナズナ等を食草とし, 林道沿のタネツケバナに産付された卵を確認している。ナノハナ, サクラ等に訪花し吸蜜する (Pl. 4-2)。

シジミチョウ科 LYCAENIDAE

16. ムラサキシジミ *Narathura japonica* MURRAY

横須賀市 塚山 YCM-I. 2576 (1) 18. VIII. 1959; 鷹取山 YCM-I. 3740 (1) 25. VII. 1957; *T.M (1) 21. IX. 1964; **天神島 (石黒 1974)。

逗子市 神武寺 YCM-I. 2575 (1) 1. XI. 1953; YCM-I. 2577 (1) 20. VIII. 1956; 二子山 T.M (1) 29. III. 1965。

鎌倉市 *天園 T.M (1♂) 29. XI. 1964。

横浜市長沢区 *六浦町 A.Y (1) 2. VII. 1965; T.M (1) 29. XI. 1965; T.M (2) 31. XII. 1965; 釜利谷町 T.M (1) 20. III. 1965; 朝比奈町 M.S (2♂) 10. X. 1965。

分布型: III-c. 3月下旬より12月下旬までみられるが, 11月には休眠に入り, 以後は温暖な日のみ活動する。越冬成虫は3月下旬より活動を開始する。6月下旬~8月上旬, 8月下旬~9月中旬に各々1化, 2化が発生する。アラカシ *Quercus glauca* THUNB., コナラ *Quercus serrata* THUNB., クヌギ等を食樹とし, 日だまりにある芽吹時の幼木に産卵する。神武寺山南面のウラジロ等に卵が確認されている。自然破壊によりアラカシ, ウラジログシが少なくなった結果, 最近では少なくなった。

半島南部に記録が少ないのは食樹との関係が深いものと考えられる。吸水例がある。ケイトウに訪花した例がある。

17. ウラゴマダラシジミ *Artopoetes pryori* MURRAY

横須賀市 佐原 YCM-I. 2544 (1) 30. V. 1954; YCM-I. 2541, 2542 (2) 6. VI. 1958; 衣笠 MBC-3-27, 3-29 (1♂, 1♀) 8. VI. 1973; *鷹取山 H.S (1) 12. VI. 1968; 安針塚 A.Y (3♂, 1♀) 12. VI. 1966。

葉山町 *長柄 Y.S (1) 6. VI. 1965。

逗子市 *池子 Y.O (1♀) 14. VI. 1972; 新宿 Y.O (1♀) 9. VI. 1972; 二子山 M.T (2) 3. VI. 1962。

鎌倉市 **十二所 N.O (1) 13. VI. 1975.

横浜市金沢区 *六浦町 T.K (2) 27. V. 1977; 釜利谷町 H.S (2) 28. V. 1969; 朝比奈町 K.N (2♂, 2♀) 20. VI. 1965.

分布型: III-b. 5月中旬より6月下旬までみられ, 6月中旬に最盛期が認められる。イボタノキ *Ligustrum obtusifolium* SIEB. et ZUCC., オオバイボタ *Ligustrum ovalifolium* HASSK. などに産卵 (Pl. 4-2) 食樹とする。イボタノキが半島内全域に分布している割には記録が局所的であり少ない。丘陵谷間, 沢沿の林縁, これらに隣接した人家周辺にみられる。イボタに訪花する。後翅の基部を残して黒化した個体が二子山で記録されているが半島内では非常に稀である。

横須賀市産の個体は一般に大型であり, 色は明るい紫である。個体変異の大きな種といえる。

18. アカシジミ *Japonica lutea* HEWITSON

横須賀市 衣笠公園 YCM-I. 2532-2535 (4) 25. V. 1955; YCM-I. 3626-3632 (7) 3. VI. 1956; 久比里 YCM-I. 3653 (1) 30. V. 1960; 衣笠 YCM-I. 2537 (1) 25. VI. 1955; MBC-3-30 (1) 8. VI. 1973; *芦名口 Y.O (1♂) 13. VI. 1971; 田浦 Y.S (1) 6. VI. 1965; 追浜 Y.S (1) 28. V. 1957; **安針塚 A.Y (2) 12. VI. 1966.

逗子市 *二子山 M.T (1) 2. VI. 1962; 桜山 H.I (1♂) 3. V. 1953.

横浜市金沢区 *六浦町 H.S (1) 20. V. 1969; 釜利谷町 Y.O (1♂) 2. VI. 1971; 朝比奈町 T.M (1) 18. VI. 1965.

分布型: III-c. 5月下旬より7月上旬までみられ, 6月上旬に最盛期が認められる。

半島南部ほど記録は少なく, 久里浜以南では未記録である。分布は局所的であり, 個体数も少ない。コナラ等の雑木林にみられ, コナラ, クヌギに越冬卵を確認している。

クリの花に飛来し, 夕方には活発に樹上を飛翔する。海岸近辺には少ない。

19. ウラナミアカシジミ *Japonica saepestriata* HEWITSON

横須賀市 *衣笠城趾 H.I (1♂) 12. VI. 1954.

横浜市金沢区 *六浦町 K.S (1) 28. VI. 1965; A.Y (1♂) 11. VI. 1967; K.N (2♂) 16. VI. 1967; K.N (2♂) 21. VI. 1967; M.N (1♂) 23. VI. 1968.

分布型: III-c. 6月中旬より6月下旬にみられた記録 (Pl. 1-5) があるが, 半島内では大変稀である。半島北部に記録は多く, アカシジミより出現期が少し遅れることが多い。クヌギ, コナラを食樹とし, これらの分岐枝に産卵する。

生息環境はアカシジミに似る。樹上を朝夕に飛翔活動する。横須賀市衣笠町, 横浜市戸塚区公田町ではクヌギが優勢な林から発見されている。葉山, 久里浜付近には生息地が存在する可能性があるもので今後調査を要する。

20. ミズイロオナガシジミ *Antigius attilia* BREMER

横須賀市 衣笠公園 YCM-I. 2562 (1) 9. VI. 1955; YCM-I. 2563 (1) 19. VI. 1954; 久比里 YCM-I. 3774, 3775 (2) 26. VI. 1960; 若松町 MBC-3-35, 3-36 (2♀) 21. V. 1973; MBC-3-31 (1) 19. VI. 1971; 大滝町 MBC-2-24 (1) 20. VI. 1971; *芦名口 Y.O (1♀) 13. VI. 1971; 鷹取山 H.S (1) 12. VI. 1968; 公郷 H.I (4♂, 1♀) 16. VI. 1957; 安針塚 H.S (2) 7. VI. 1959; 追浜 Y.S (1) 4. VI. 1955.

横浜市金沢区 *六浦町 M.N (1) 18. VII. 1967; 釜利谷町 Y.O (1♀) 10. VI. 1973.

分布型: II-b. 5月下旬より7月中旬までみられ, 年1回発生する。6月中旬が最盛期であり, オオミドリシジミ, アカシジミより発生がやや遅れる。

クヌギ, コナラ等を食樹とし, これらの葉, 枝, 樹に分散して産卵する (Pl. 4-3)。

丘陵地のコナラ, クヌギにみられ, 樹液を吸蜜し, クリに訪花する。

21. ミドリシジミ *Neozephyrus taxila* BREMER

横須賀市 長沢 MBC-3-47 (1♂) 19. V. 1972; MBC-3-52 (1♀) 29. V. 1972; MBC-3-44, 3-45, 3-46 (3) 20. VI. 1972; MBC-3-41, 3-42, 3-43 (3) 27. VI. 1971; 津久井浜 MBC-2-25 (1) 23. V. 1972; *芦名口 Y.O (1♂) 13. VI. 1971; 木古庭 Y.S (1) 11. VI. 1942; 鷹取山 Y.S (1) 12. VII. 1949; 武山 Y.O (25 larvae) 5. V. 1972。

鎌倉市 *十二所 K.S (1♂) 28. VI. 1969。

横浜市金沢区 *六浦町 M.T (1♂) 26. VIII. 1960; 釜利谷 Y.O (2♂) 5. VI. 1971。

分布型: II-b。6月上旬より8月下旬までみられる。分布は食樹であるハンノキ *Alnus japonica* STEUD. に依存していて、食樹があれば生息することが多い。

成虫は少ないが、卵は比較的広く分布が確認され三浦市引橋からも得られている。三浦市松輪、油壺にハンノキが多いことから生息している可能性がある。

谷の湿地帯隣縁特に南面のハンノキ群落に好んで生息する。ウバメガシに訪花例がある。

枝に2~3個産卵される場合が多いが、朝比奈町等で10数卵の記録がある。雌雄異常型が発見されている (Pl. 1-6)。

22. オオミドリシジミ *Favonius orientalis* MURRAY

横須賀市 久比里 YCM-I. 3773 (1) 6. VI. 1960; 鷹取山 YCM-I. 2549, 2555 (2) 10. VI. 1954; *芦名口 Y.O (1♂) 13. VI. 1971; **田浦 M.Z (3 eggs)

逗子市 **池子 Y.O (47 eggs) 18. III. 1973; 神武寺 M.N (3 eggs) 3. II. 1970。

鎌倉市 **十二所 M.N (53 eggs) 24. II. 1972。

横浜市金沢区 *六浦町 A.Y (1♂) 5. VI. 1966; K.S (2♂, 1♀) 27. VI. 1965; T.M (1♀) 6. VII. 1965; 釜利谷町 M.N (1♀) 14. VI. 1970。

分布型: II-b。6月上旬より7月上旬までみられる。コナラ、アラカシを食樹し、これらを主体とする雑木林にみられる。アカシジミとほぼ同様な発生を示す。半島内ではカシを食する唯一の *Zepphrus* である。成虫は少ないが、こもれ日の当る食樹の幼木に産付された卵は比較的多くみられる。アラカシでは葉と枝に、コナラでは分枝に産卵されることが多い。三浦市引橋まで分布記録があるが、南部になるに従い少なくなる。1973年6月20日に神武寺にて産卵を観察確認している。

後翅に丸紋が出現した異常型 (Pl. 1-7) が得られている。

23. トラフシジミ *Rapala arata* BREMER

横須賀市 *鷹取山 Y.O (1♂) 16. IV. 1972; 武山 T.K (1) 29. IV. 1972。

鎌倉市 **十二所 N.O (1) 16. V. 1971 (Pl. 4-4)。

横浜市金沢区 *朝比奈町 T.K (1♀) 30. IV. 1973; **六浦町 Y.O (1) 3. V. 1973。

*戸塚区 *上郷町 K.M (1) 29. VI. 1975。

分布型: III-c。年2化であり、春型は4月中旬から5月中旬まで記録がある。夏型は1975年6月29日に採集された1個体を確認したに過ぎない。分布は半島北部ほど多くなるが、南部の武山に記録が1例ある。ハルジョオンの花に飛来し、ウツギより幼虫が発見されている。今後食草について調査を要する。

24. ベニシジミ *Lycaena phlaeas* LINNAEUS

横須賀市 久里浜 YCM-I. 3757 (1) 17. IV. 1955; YCM-I. 2582 (1) 7. VIII. 1969; 久村 YCM-I. 3764 (1) 19. VIII. 1955; 天神島 YCM-I. 932 (1) 7. IX. 1975; 武山山頂 MBC-2-41 (1) 23. IV. 1967; 上町 MBC-3-64 (1) 3. V. 1971; *追浜 Y.S (1) 16. VIII. 1959。

葉山町 長柄 YCM-I. 2581 (1) 21. III. 1954; MBC-2-44 (1) 20. VI. 1972。

逗子市 神武寺 3809, 3828, 3831 (1♂, 2♀) 20. VI. 1976; *二子山 M.N (1) 13. IX. 1971。

鎌倉市 十二所 YCM-I. 882 (1) 12. IV. 1977; *天園 T.M (2) 20. VI. 1965。

横浜市金沢区 *六浦町 T.M (1) 21. XI. 1964; 釜利谷町 Y.O (1♀) 8. III. 1970; M.N (1) 26. X. 1969; 野島 T.A (1) 11. VII. 1969; 朝比奈町 M.N (1) 17. VI. 1967。

分布型: I-a. 3月上旬より11月下旬まで連続的にみられ、年4~5回の発生である。

スイバ *Rumex Acetosa* L., ギシギシ *Rumex japonicus* HOUTT. 等を食草とし、これらに飛来した雌は茎の上部より下部へ向って産卵するものが確認されている。半島全域に分布し、耕作地、荒地、空地等にみられる人里の蝶といえる。ハルジオン、ヒナギク他各種の花に飛来し吸蜜する夏型は春型より黒化し、7~9月にみられる。越冬態は幼虫である。

25. ゴイシシジミ *Taraka hamada* DRUCE

横須賀市 沢山の池 YCM-I. 2580 (1) 11. IV. 1954; 久里浜 YCM-I. 983 (1) 10. VII. 1977; 秋谷 YCM-I. 998 (1) 20. VII. 1977; 上町 MBC-3-55 (1) 21. VIII. 1971; MBC-3-56, 3-57 (2) 30. VIII. 1971; *鷹取山 Y.O (3) 29. VII. 1972; 大楠山 T.A (1) 14. IX. 1969; 追浜 Y.S (1) 7. VIII. 1958。

三浦市 引橋 YCM-I. 3810, 3814 (1♂, 1♀) 20. V. 1976。

逗子市 *二子山 M.N (7) 13. IX. 1971; 神武寺 Y.O (1) 6. IX. 1970。

鎌倉市 *葛原ヶ丘 H.I (2♀) 23. XI. 1953。

横浜市金沢区 *六浦町 S.N (1♂) 6. VI. 1965; 釜利谷町 M.N (4) 1. X. 1967; 朝比奈町 M.N (1) 30. IV. 1973。

分布型: I-b. 4月中旬より11月上旬まで連続してみられ、年4化と考えられる。半島南部までタケ、ササ類のあるところにみられる (Pl. 4-5)。発生地は局所的であるが、食餌であるアブラムシの発生状況により、年によっては生息地を変え、発生個体数も異なる。

訪花例はなく、汚物等の吸水例がある。発生数が少ない年は個体差が小さく、多いときには個体差が著しい傾向がある。

26. ウラナミシジミ *Lampides boeticus* LINNAEUS

横須賀市 鷹取山 YCM-I. 594 (1) 27. VII. 1969; YCM-I. 603 (1♂) 3. X. 1969; 西逸見町 YCM-I. 2613 (1) 12. IX. 1959; 塚山公園 YCM-I. 2616 (1) 14. IX. 1959; 久里浜 YCM-I. 3769 (1) 10. XI. 1960; 上町 MBC-3-58 (1♀) 26. X. 1969; MBC-3-61 (1♀) 5. XI. 1973; 野比 MBC-3-58 (1♀) 20. VI. 1971; 大滝町 MBC-2-32 (1♀) 31. VIII. 1967; *大楠山 H.S (2♀) 10. X. 1969; 武山 A.Y (1♀) 23. IX. 1966; 追浜 Y.S (1) 6. VIII. 1955。

三浦市 *三崎 Y.S (1) 15. IX. 1966。

葉山町 長柄 YCM-I. 2610, 2611 (2) 11. X. 1953; *Y.S (1) 31. VIII. 1957。

逗子市 神武寺 MBC-3-59 (1♂) 16. VIII. 1972; *桜山 H.I (4♀) 23. XI. 1957 二子山 M.N (1♂) 13. IX. 1971。

鎌倉市 十二所 YCM-I. 926 (1♂) 20. IX. 1975。

横浜市金沢区 *六浦町 Y.O (1♂) 1. IV. 1973; 釜利谷町 T.K (13♂, 2♀) 13. IX. 1970; 朝比奈町 M.N (1♀) 29. IX. 1968。

分布型: I-a. 6月下旬より11月中旬までみられ、発生回数は不明であり、通常8月上旬より、次第に個体数が増加し、9月中旬に最盛期となる。その後次第に減少し、11月下旬には姿を消す。3月21日の採集記録があるが、越冬地 (房総半島) より飛来したものか、土着している個体であるのかは不明であり、今後検討の余地がある。房総のウラナミシジミについては鈴木 (1958 a, b) の報告があり、併せて比較調査を要する。半島内全域で記録され、インゲンマメ *Dolichos lablab* L., エンドウ *Pisum sativum* L. var. *arvense* POIR., ソラマメ *Vicia Fava* L. forma *anacarpa* MAKINO 等の栽培マメ科植物を好むが、クズ *Pueraria Thumbergiana* BENTH, ミヤコグサ *Lotus corniculatus* L. var. *japonicus* REGEL, クララ *Sophora angustifolia* SIEB. et ZUCC. 等を食することから、人家周辺や耕作地のみならず丘陵地にもみられる。

27. ヤマトシジミ *Pseudozizeeria maha* KOLLAR

横須賀市 池田町 YCM-I. 3771 (1) 27. IV. 1961; 鷹取山 YCM-I. 3715, 3716 (2) 3. V. 1955; YCM-I. 572, 575, 585 (1♂, 2♀) 5. X. 1969; YCM-I. 522 (1♂) 16. XI. 1969; YCM-I. 544 (1♂) 12. X. 1969; 前田川 YCM-I. 3826 (1) 20. V. 1976; 久村 YCM-I. 3770 (1) 19. VIII. 1955; 若松町 YCM-I. 561, 578 (1♂, 1♀) 20. VIII. 1969; 森崎 YCM-I. 2658 (1) 21. VIII. 1969; YCM-I. 508 (1♂) 20. IX. 1969; 塚山公園 YCM-I. 2658 (1) 28. VIII. 1969; 上町 YCM-I. 569 (1♂) 8. IX. 1969; YCM-I. 551, 557, 567 (3♂) 28. IX. 1969; 田戸台 YCM-I. 535 (1♂) 14. IX. 1969; 天神島 YCM-I. 935 (1♂) 7. IX. 1975; 公郷 YCM-I. 2601 (1) 17. X. 1953; *H.I (1♂) 2. III. 1955; 武山 T.K (6♂, 1♀) 3. V. 1969; 大楠山 K.Y (1♂) 27. III. 1969; 安針塚 K.N (2♂) 17. IV. 1966; 猿島 Y.S (1) 29. IV. 1962; 大津町 Y.S (1) 20. IV. 1958; 阿部倉町 M.N (1♂) 5. V. 1974.

三浦市 *毘沙門 Y.O (1♂, 1♀) 4. V. 1974.

逗子市 桜山 YCM-I. 2598 (1) 11. IV. 1954; *二子山 Y.O (1♀) 19. V. 1974; 神武寺 T.K (1♂) 21. IX. 1969.

鎌倉市 十二所 YCM-I. 907-910 (4) 20. IX. 1975.

横浜市金沢区 *釜利谷町 M.N (1♂) 27. VIII. 1971; 朝比奈町 S.N (1♂, 1♀) 1. VIII. 1965.

分布型: I-a. 3月下旬より11月下旬までに順次多くみられる。年4~5回の発生で、ルリシジミより発生は少し遅れる。食草はカタバミ *Oxalis corniculata* L. である。道端、耕作地、荒地、海岸部に多く、半島全域に分布する。カタバミ等に訪花する。吸水例は少ない。

春型、夏型、秋型があり、秋型は灰色味色強い。春および晩秋型の雌に青斑が現われることがある。季節により斑変化が多いが、夏季は安定している。斑紋異常型が得られている (Pl. 1-8)。

28. シルビアシジミ *Zinina otis* FABRICIUS

三浦市 *毘沙門 Y.O (2♀) 24. IX. 1973; Y.O (2♀) 4. V. 1974; M.N (1♀) 23. IX. 1974; 城ヶ島 T.S (1♀) 24. IX. 1973.

分布型: III-c. 5月上旬より9月下旬までみられる。年4回の発生と考えられる。海岸の荒地に発生し、ミヤコグサ *Lotus corniculatus* L. var. *japonicus* REGEL を食草とする。本種の分布については矢野 (1953), 安江 (1954), 新井 (1958), 鈴木 (1956), 磐瀬 (1952) らが三浦半島及び周辺地域の記録を報告している。

石黒 (1974) によれば、横須賀市天神島においても記録がある。分布生息状況は、他地域に比較して、①群生しない、②個体数が少ないという点異なる。ミヤコグサの群落が半島内で発見されていることから、新発生地が発見される可能性が大きい。今後9月下旬における調査を要する。

29. ルリシジミ *Celastrina argiolus* LINNAEUS

横須賀市 大楠山 YCM-I. 3666 (1♂) 23. III. 1961; YCM-I. 2602 (1) 29. IV. 1954; 田浦 YCM-I. 712, 713 (2♂) 7. IV. 1969; 畠山 YCM-I. 3746 (1) 10. IV. 1955; 久里浜 YCM-I. 3664 (1) 11. IV. 1961; YCM-I. 3795 (1) 17. V. 1976; 久比里 YCM-I. 3665 (1) 20. IV. 1961; 鷹取山 YCM-I. 3710, 3711 (2) 14. III. 1955; **K.S (1) 12. III. 1966; *武山 Y.O (1♂, 2♀) 11. IV. 1973; 安針塚 K.N (2) 17. IV. 1966; 追浜 Y.S (1) 24. III. 1956.

葉山町 長柄 YCM-I. 3808 (1) 10. V. 1976.

逗子市 神武寺 YCM-I. 3801, 3817 (2) 20. VI. 1976; 沼間 YCM-I. 3780 (1) 6. IV. 1961; *二子山 H.S (3♂) 8. XI. 1968.

鎌倉市 十二所 YCM-I. 971, 972 (2) 6. V. 1976.

横浜市金沢区 *六浦町 A.Y (1♂) 16. X. 1966; 朝比奈町 K.N (1♂) 18. VII. 1965; 釜利谷町 M.N (1♀) 30. IV. 1971.

分布型: I-a. 3月中旬より発生し, 11月下旬まで連続的にみられる。4月上旬に最も多くみられ, 夏季少なくなり, 秋季に再び多くなる。年 4~5 回の発生と考えられる。半島内全域に分布し, マメ科植物であるクズ, フジ, ハギ, ネム等を食草とする。丘陵地, 民家周辺に発生する。

吸水例は多いが, 雌雄の間では雄がより吸水例が多い。湿地に降り群生していることがある。

30. ツバメシジミ *Everes argiades* PALLAS

横須賀市 池田町 YCM-I. 3667 (1) 27. IV. 1961; 衣笠公園 YCM-I. 3617 (1♂) 14. V. 1955; 久里浜 YCM-I. 3765 (1) 18. VIII. 1955; 公郷 YCM-I. 2606 (1) 17. X. 1953; 猿島 YCM-I. 979 (1) 8. VII. 1977; 野比 MBC-3-65 (1♂) 9. V. 1971; 長沢 MBC-3-67 (1) 27. VI. 1971; 上町 MBC-3-68 (1♀) 12. VIII. 1971; 若松町 MBC-3-69 (1) 20. VIII. 1971; *安針塚 K.N (1) 29. IV. 1965; 阿部倉町 M.N (1♀) 5. V. 1974; 芦名 Y.O (1♀) 7. IV. 1974; 大楠山 M.N (1♀) 30. VIII. 1969; 武山 T.K (1♂, 2♀) 3. V. 1969。

葉山町 *長柄 Y.S (1) 27. IV. 1961。

逗子市 逗子 YCM-I. 2604 (1) 13. IX. 1953; *二子山 Y.O (1♀) 19. V. 1974; 神武寺 M.N (1) 21. IX. 1969。

鎌倉市 十二所 YCM-I. 903, 904 (2) 20. IX. 1975。

横浜市金沢区 *六浦町 Y.O (1♂) 1. IV. 1973; T.A (2♂) 13. VII. 1969; 朝比奈町 M.N (1♂) 11. IV. 1974; 釜利谷町 T.K (1♀) 3. V. 1973; 野島町 T.A (1♂) 11. VII. 1969。

分布型: I-b. 4月上旬より10月下旬まで連続的にみられる。半島内全域に分布し, ハギ等のマメ科植物を食草とする。ヤマトシジミやルリシジミに比較すると個体数は少ない。

荒地, 耕作地周辺に多く, 海岸近辺の荒地にもみられた例がある。各種の植物に訪花するが, ハギには特に多い。吸水例はある。

変異が多く春型の雌前翅に青斑紋が生ずることがある。

31. ウラギンシジミ *Curetis acuta* MOORE

横須賀市 大楠山 YCM-I. 2587 (1♂) 23. VII. 1955; YCM-I. 958 (1♂) 20. XII. 1975; 鷹取山 YCM-I. 2589 (1) 15. X. 1954; 安針塚 YCM-I. 927 (1♂) 28. IX. 1975; *追浜 Y.S (1) 12. IX. 1957; Y.S (1) 13. XII. 1959。

三浦市 **諸磯 N.O (1) 13. XI. 1975. (Pl. 4-6)。

逗子市 神武寺 YCM-I. 2590 (1♂) 20. IV. 1976; 逗子 YCM-I. 2586 (1) 13. IX. 1953。

鎌倉市 十二所 YCM-I. 921, 922 (2♂) 20. IX. 1975。

横浜市金沢区 *六浦町 S.N (1♀) 28. X. 1964。

分布型: II-b. 4月下旬より11月上旬まで飛翔活動した記録がある。成虫越冬した雌は5月上旬までみられる。半島内全域に分布し, 年により発生個体数が変動する。1968年は急減し, 1974年に増加し始め, 1975年には個体数が最も多くなった。年間の気象条況との関連が深いものと考えられるので, 今後この点について経年変化を調査する予定である。

年 2~3 回発生し, 人家周辺のカキ, イチジク等の果実に集まることがある。クズを食草とし, これより幼虫が発見されている。吸水例は多い。冬期に人家の垣根に潜む個体が観察されている。

マダラチョウ科 DANAIDAE

32. アサギマダラ *Parantica sita* KOLLAR

横須賀市 *安針塚 (1) 26. IV. 1959; 大楠山 Y.S (1) 13. V. 1956; **田浦大作町 N.O (1) X. 1976。

三浦市 *城ヶ島 Y.E (1♂) 10. X. 1976。

逗子市 神武寺 YCM-I. 3768 (1) 30. X. 1955; *MT (1♀) 27. VI. 1970; T.K (1♂) 2. IX. 1975。

鎌倉市 十二所 YCM-I, 866 (1) 17, V. 1976。

横浜市金沢区 *朝比奈町 T. SAGARA (1♀) 22, VII. 1970。

分布型 III-c。4月下旬より10月上旬にみられるが、8月から9月の記録は少ない。半島内での記録は点在して少ないが、成虫の飛翔力が強いことから、半島内全域にみられるものと考えられる。夏季にみられなくなるのは気温の上昇に伴い、生息環境が不適となり、他地域の山地へ移動している可能性がある。

半島内では稀種であり、丘陵地林縁、木もれ日の当る谷戸等で得られている。食草は未確認であり、前記の移動とともに併せて今後の調査を要する。白色のヒヨドリバナ等に訪花例がある。

タテハチョウ科 NYMPHALIDAE

33. メスグロヒョウモン *Damora sagana* DOUBLEDAY

逗子市 *桜山 (1♀) VIII. 1953; 神武寺 Y. S (1) 11, VIII. 1957。

横浜市金沢区 *六浦町 M. T (2♀) 16, VII. 1962。

分布型: III-c。記録は上記2例があるのみで非常に少ない。本種はミドリヒョウモンの様に移動してきたものでなく、オオムラサキ等と同様に多摩丘陵方面より半島北部にかけて分布しているものの1種と考えられる。半島内では北部に限り生息して、非常に稀である。平地の雑木林に生息するために宅造開発等により、近い将来には半島内ではみられなくなるものと思われる。分布、生態等の調査は緊急を要する。半島近縁地域では以下の記録がある。

横浜市 下永谷 M. O (1♂) 19, VII. 1962; M. O (1♀) 12, VI. 1961。

本調査以外では、松山 (1935)、渡辺 (1942) らが鎌倉にて、又、丸山 (1972) は川崎市にて各々記録しているが、標本は未確認である。

34. ミドリヒョウモン *Argynnis paphia* LINNAEUS

横須賀市 上町 MBC-3-76 (Pl. 2-4)

逗子市 *神武寺 H. O (1♂) 28, IX. 1973; H. O (1♂) 2, X. 1973。

分布型: III-c。半島内では上記の記録3例のみであり、これらの個体の鮮度が悪いことなどから、半島内土着種とは考えにくい。

大型ヒョウモン類は秋季に発生地を離れ、遠方へ飛翔する例があることから、本種も丹沢や房総方面から飛来したものと考えられる。今後の調査を要する種である。なお、本調査以外では、小松崎 (1971) により、鷹取山での分布記録がある。

35. ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius* LINNAEUS

横須賀市 栗田 YCM-I, 2702 (2♂, 2♀) 15, VIII. 1974 (Pl. 2-5); *武山 K. N (1♂) 30,

VIII. 1965; 鷹取山 Y. O (1♂) 14, VIII. 1973。

分布型: 未確認。偶産蝶と考えられ、どこから飛来したのか不明である。1974年7月30日に坂本 (横須賀市栗田 1-35-2) は自宅庭にて、植栽したパンジーに本種の幼虫7頭 (大型幼虫で体長 55~66 mm) を発見し、これらの幼虫のうち4個体が8月15日までに羽化したのを確認記録している。食草と同属のスマレ類は自生しているが本種が自生している可能性は少ない。この他の飼育例ではパンジーを食草とし、若令幼虫まで飼育した後、食草を三浦半島産のタチツボスミレ *Viola gray-poceras* A. GRAY に替えたところ生育不良となり全て死滅した。

36. アサマイチモンジ *Limenitis (Ladoga) glorifica* FRUHSTORFER

横浜市金沢区 *釜利谷町 M. T (1♂) 15, IX. 1970 (Pl. 2-6)。

分布型: III-c。9月に上記の1記録があるのみである。平地における本種は、同一食樹、環境に

生息するイチモンジチョウに生息域を追われ、局所的に分布しているものと考えられる。今後の調査により分布状況を更に明らかにしたい。広範囲にわたり飛翔する種ではない他、半島近縁地域の横浜等にも分布している(天野, 1969) ことなどから、自生している可能性が大きい。食草はスイカズラ *Lonicera japonica* THUNB. である。本種はイチモンジチョウと混在して出現するので発見しにくい。

37. イチモンジチョウ *Limenitis (Ladoga) camilla* LINNAEUS

横須賀市 衣笠公園 YCM-I. 3641 (1) 24. V. 1955; 佐原 YCM-I. 3766 (1) 31. V. 1955; 野比 MBC-3-77 (1) 31. VII. 1971; 大滝町 MBC-2-94 (1) 28. VII. 1967; 上町 MBC-3-78 (1) 11. VIII. 1971; MBC-3-79 (1) 12. VIII. 1971; 武山 K.N (2) 5. IX. 1965。
逗子市 *二子山 M.T (3) 18. V. 1969; 神武寺 M.N (1) 15. IX. 1968。
鎌倉市 十二所 YCM-I. 919 (1) 20. IX. 1975。
横浜市金沢区 *六浦町 T.K (1) 9. IV. 1968; Y.O (1) 12. V. 1970; 釜利谷町 M.N (1) 31. V. 1971。

分布型: I-b. 5月中旬より9月中旬にみられ、年3回の発生と考えられる。1化は5月中旬より6月下旬、2化は7月下旬より8月中旬、3化は9月上旬に発生する。春季に最も多く以後順次個体数が減少する。半島内全域に分布し、丘陵地、林縁を活発に飛翔する。食草はスイカズラ *Lonicera japonica* THUNB. である。日照良好な道端林縁のスイカズラに多くの越冬幼虫が見られている。吸水例がある。

38. コミスジ *Neptis sappho* PALLAS

横須賀市 鷹取山 YCM-I. 3709 (1) 10. IX. 1955; 前田川 YCM-I. 3806 (1) 20. V. 1976; 衣笠公園 YCM-I. 3643 (1) 21. V. 1955; 木古庭 YCM-I. 2511 (1) 30. V. 1958; 坂本町 YCM-I. 3678 (1) 20. VIII. 1957; 大滝町 MBC-2-95 (1) 7. V. 1968; 野比 MBC-3-81 (1) 9. V. 1971; MBC-3-82 (1) 9. VII. 1971; *追浜 Y.S (1) 2. X. 1957。
葉山町 長柄 YCM-I. 3799 (1) 10. V. 1976。
逗子市 神武寺 YCM-I. 3789 (1) 20. VI. 1976; *二子山 T.K (1) 27. IV. 1969; 桜山 H.I (1) 25. III. 1951。
鎌倉市 十二所 YCM-I. 916 (1) 20. IX. 1975。
横浜市金沢区 *六浦町 K.N (1) 5. IX. 1964; S.N (1) 5. X. 1964; 釜利谷町 M.N (1) 24. V. 1970; 朝比奈町 M.N (2) 17. IX. 1967。

分布型: I-b. 4月下旬より10月下旬まで連続してみられ、ウツギの開花日前後(5月上旬)と9月上旬に多い。年4回前後発生し、1化の最盛期は明瞭であるが以後は不明瞭である。

フジ、ハギ、クズ等を食樹とし、丘陵地林縁に生息し、日当りを好む。晩秋にフジより幼虫を確認している。ハギに訪花例がある他、犬糞等に吸汁することがある。三浦半島全域に分布するが、成虫に比較すると幼虫の発見個体数は少ない。

39. キタテハ *Polygonia c-aureum* LINNAEUS

横須賀市 大楠山 YCM-I. 3654 (1) 23. III. 1961; 坂本町 YCM-I. 3670, 3671, 3672 (3) 20. VIII. 1959; 上町 YCM-I. 284 (1) 13. IX. 1961; YCM-I. 2679, 2680 (2) 8. X. 1962; MBC-3-93 (1) 13. VI. 1971; 森崎 YCM-I. 287-301 (15) 28. IX. 1969; 大滝町 MBC-2-106 (1) 28. V. 1967; *武山 K.N (1) 24. IX. 1973; 鷹取山 K.N (2) 8. X. 1964; 秋谷 K.N (2) 5. IX. 1965; 猿島 H.I (1) 21. I. 1954。
三浦市 引橋 YCM-I. 984 (1) 16. VII. 1977。
逗子市 *二子山 M.N (4) 3. XI. 1970。
鎌倉市 十二所 YCM-I. 2703 (1) 10. X. 1976。
横浜市金沢区 *六浦町 S.N (1) 12. II. 1974; S.N (1) 2. IV. 1968; S.N (1) 13. XII.

1968; H.S (1) 13. VII. 1968; 朝比奈町 K.N (2) 12. IX. 1964; 釜利谷町 M.N (1) 28. VIII. 1971.

分布型: I-a. 年 4~5 回の発生であり, 成虫越冬をするために 1 年中みられる。夏季は少なく, 冬季は温暖な日に飛翔する。12月 1 日に飛翔するのを目撃している。越冬成虫は 5 月上旬頃まで生存し, 5 月下旬に新成虫が発生する。6 月中旬まで個体数を増すが, 7 月から 8 月には減少し, 9 月上旬より再び多くみられる様になり, 11 月上旬まで増え続ける。12 月には急激に個体数が減少し, 日だまりにわずかにみられる程度となる。半島内全域に分布し, 丘陵地, 住宅地等の空地にもみられる最も普通な種である。食草はカナムグラ *Humulus japonicus* SIEB. et ZUCC. であり, 卵, 幼虫が得られているが, 成虫数に比較するとこれらの発見数は少ない。ヤブカラシ, サクラ, ベンケイソウ, カボチャ, ケイトウ, マーガレット等に訪花する。カキ, イチヂク等の果実に集まり吸蜜するが樹液に飛来するのは稀である。ススキの根元, 粗朶の中に越冬することがある。交尾例が未確認であり, 今後の調査を要する。

40. ヒオドシチョウ *Nymphalis xanthomelas* DENIS & SCHIFFERMÜLLER

横須賀市 衣笠公園 YCM-I. 2524 (1) 16. VI. 1954; *追浜 Y.S (1) 23. IX. 1955; 鷹取山 Y.S (1) 15. VI. 1956.

逗子市 *池子 K.H (1♀) 18. III. 1954; 二子山 T.K (1) 23. III. 1969.

横浜市金沢区 *六浦町 S.N (2♂) 16. VI. 1965 (Pl. 2-7); S.N (1) 2. IV. 1968; T.K (1) 4. VI. 1969.

分布型: III-c. 6 月上旬より発生し, 7 月中旬までみられ, 以後は少ない。3 月越冬個体が記録されたが少ない。丘陵地や耕作地で発見されている。1969 年に六浦町においてエノキの下にあるマサキの葉裏より多数の蛹殻が発見されている。

食草はエノキ *Celtis sinensis* PERS var. *japonica* NAKAI であり, 樹液を吸蜜することがある。越冬場所は不明であり, 分布, 生態ともに今後更に調査を要する。

41. ルリタテハ *Kaniska canace* LINNAEUS

横須賀市 佐原 YCM-I. 2689 (1) 12. VI. 1954; 坂本町 YCM-I. 3745 (1) 12. VI. 1975; 衣笠山 YCM-I. 2688 (1) 16. VI. 1954; 上町 YCM-I. 2690 (1) 27. IX. 1962; YCM-I. 2691 (1) 5. X. 1962; MBC-3-89 (1) 2. IX. 1970; 馬堀町 YCM-I. 918 (1) 20. X. 1975; 若松町 MBC-3-90, 3-91 (2) 11. VIII. 1971; 大滝町 MBC-2-103 (1) 22. VIII. 1971; *大楠山 M.N (1) 7. VII. 1968; 武山 K.N (1) 5. IX. 1965; 鷹取山 M.N (1) 5. XI. 1968.

逗子市 *二子山 H.S (1) 31. VIII. 1969; M.N (1♀) 10. XI. 1968; 新宿 Y.O (1♂) 24. X. 1972; 桜山 H.I (1) 24. II. 1953.

鎌倉市 十二所 YCM-I. 2696 (1) 1. VIII. 1977.

横浜市金沢区 *六浦町 M.T (1) 13. VIII. 1968; 朝比奈町 S.N (3♀) 10. X. 1965.

分布型: I-b. 新成虫は 6 月中旬より発生し始め 10 月下旬までみられるが, 個体数は秋季に多い。3 化と考えられ, 越冬個体数は 5 月上旬までみられる。

個体数は少ないが, 11 月中旬まで記録は連続している。

食草はサルトリイバラ *Smilax China* L., ホトトギス *Cricyrtis hirta* Hook. 等である。これらの一葉に 2 卵程産付されていたのを確認している。果実やクヌギの樹液を吸蜜する。

半島内全域にみられ, 丘陵地, 林内空間に多い。明瞭な縄張を有する。

42. ヒメアカタテハ *Cynthia cardui* LINNAEUS

横須賀市 森崎町 YCM-I. 306 (1) 1. VI. 1971; 坂本町 YCM-I. 2683 (1) 7. IX. 1953; 鷹取山 YCM-I. 303, 304 (2♂) 20. X. 1961; *Y.O (1♂) 15. 1972; 公郷町 YCM-I. 2681 (1) 31. X. 1953; 逸見 YCM-I. 2682 (1) 12. XI. 1953; 大滝町 MBC-2-97 (1) 15. IX. 1967;

MBC-2-96 (1) 29. VIII. 1967; 馬堀町 S.N (1♂) 14. VIII. 1964; 大楠山 H.S (1) 10. X. 1969.

三浦市 蛭田 MBC-3-83 (1) 24. IX. 1971; **引橋 H.I (1 egg) 4. IX. 1973; 城ヶ島 H.I (1) 5. X. 1976.

逗子市 *桜山 H.I (1) 18. IV. 1954.

横浜市金沢区 *野島 M.T (1) 27. VIII. 1969; 六浦町 K.N (1) 8. IX. 1964; 釜利谷町 T.K (3) 30. VIII. 1969.

分布型: I-b. 7月上旬より11月下旬までみられるが秋季に記録が多い。越冬個体が1954年4月18日に目撃記録されている。半島内全域に分布し、耕作地、荒地、校庭等にみられるが、アカタテハより少ない。

岩場、開けた明るい場所を好み、コスモス、ヒメジョオン、ペンケイソウ等の各種の草花に飛来する。ホオコグサ *Gnaphalium multiceps* NALL. ヨモギ等を食草とし、卵、幼虫が確認されている。年により発生数に変動がある。飛翔力は大きく、縄張を有する。

43. アカタテハ *Vanessa indica* HERBST

横須賀市 衣笠公園 YCM-I. 3615 (1) 14. IV. 1955; YCM-I. 3614 (1♀) 14. V. 1955; 佐原 YCM-I. 2674 (1) 12. VI. 1954; 鷹取山 YCM-I. 359 (1) 2. IX. 1969; YCM-I. 347 (1) 14. IX. 1969; YCM-I. 343, 344, 348 (3) 5. X. 1969; YCM-I. 358 (1) 14. X. 1969; YCM-I. 350 (1) 2. XI. 1969; YCM-I. 355 (1) 14. XI. 1969; 大滝町 MBC-2-100 (1) 12. VI. 1967; MBC-2-101 (1) 6. VIII. 1972; 上町 MBC-3-87 (1) 20. VI. 1975; *武山 T.K (1) 3. V. 1969; 大楠 H.S (1) 10. X. 1969.

逗子市 二子山 YCM-I. 2676 (1) 24. X. 1953; **桜山 H.I (1) 20. XII. 1954.

横浜市金沢区 *六浦町 H.S (1) 12. VII. 1968; 朝比奈町 K.N (1) 20. VII. 1965; 野島 T.A (1) 27. VIII. 1969; **釜利谷町 M.N (50 larvae) 10. V. 1970.

分布型: I-b. 6月上旬より11月中旬まで記録は連続し、10月、11月に多い。越冬成虫は5月上旬までみられ、年2回以上発生する。

半島内全域に分布し、耕作地、人家周辺にみられる。ヤブマオ *Biehmia longispica* STEUD., イラクサ *Urtica Thunbergiana* SIEB. et ZUCC. 等を食草とし、卵、幼虫、蛹が確認されている。卵は狭い範囲内にまとめて10卵前後産付される場合が多く、また毎年同じ場所である傾向が強い。山頂占有性を有する。各種の花、樹液、果実に飛来する。人家の軒下、物置の天井、納屋等で越冬する。斑紋異常型が得られている (Pl. 2-8)。

44. リュウキュウムラサキ *Hypolimnas bolina* LINNAEUS

横須賀市 吉倉町 YCM-I. 871 (1) 15. IX. 1957.

赤穂 (1958) によれば上記の採集日天候は晴、午後2時頃採集されている。半島内での記録は上記1例のみであり、迷蝶と考えられる。

半島近縁地域の横浜においては岩崎 (1969) の記録がある。

45. スミナガシ *Dichorragia nesimachus* BOISDUVAL

横須賀市 衣笠公園 YCM-I. 3625 (1) 25. V. 1955.

逗子市 *神武寺 M.N (1♂) 3. V. 1940. (Pl. 3-1)

分布型: III-c. 上記の古記録があるのみである。オオムラサキ、メスグロヒョウモン等と同様に半島内では絶滅寸前の蝶と考えられる。または環境変化に適応出来ずに現在では絶滅したことも予想される。詳細な分布、生態等について知ることは今後きわめて困難であるか又は不可能な種である。半島近縁では、井上 (1971) が最近横浜市にて本種を目撃記録している。

46. ゴマダラチョウ *Hestina japonica* C. & R. FELDER

横須賀市 鷹取山 YCM-I. 2497 (1) 20. V. 1954; 三春町 YCM-I. 2496 (1) 25. VII. 1959;

野比 YCM-I, 3-96 (1) 19. V. 1971; 上町 MBC-3-97 (1) 30. VII. 1971; 大滝町 MBC-2-112 (1) 11. IX. 1968; *安針塚 K.N (8♂) 23. V. 1967.
 逗子市 神武寺 MBC-3-98 (1) 12. IX. 1972; *逗子 M.T (1♂) 23. IX. 1973; **二子山 M.N (52 larvae) 21. II. 1971.
 鎌倉市 **十二所 T.K (5 larvae) 29. III. 1974.
 横浜市金沢区 *六浦町 T.K (1) 29. VI. 1968; T.K (1♂) 27. V. 1977; 野島 T.A (2) 28. VIII. 1969; 六国峠 Y.O (2♀) 31. VII. 1973.

分布型: I-b. 4月下旬より9月下旬にみられ, 夏季に最も多い。1化は4月下旬, 2化は7月下旬, 3化は9月下旬より発生する。

半島内全域に分布し, 丘陵地に多い。エノキ *Celtis sinensis* PERS var. *japonica* NAKAI を食樹とし, 冬期は食樹の根元, 落葉の下等で越冬する。樹液の他, イチヂクの果実等に飛来することがある。エノキの周囲を雌が旋回することが多い。縄張を有し, 春型は色彩が白化する傾向がある。

47. オオムラサキ *Sasakia charonda* HEWITSON

横須賀市 *鷹取山 Y.Y (1♂) VI. 1965 (Pl. 3-2)。

分布型: III-c. 半島内では非常に稀である。半島北部に分布し, 鷹取山が南限と考えられる。スミナガンと同様に, 鷹取山周辺では絶滅に等しく, 最近では全く記録がない。しかし, 横浜市戸塚区, 港南区では現在もわずかであるが生息している。多摩丘陵方面に分布の本拠をもつ蝶といえる。

横浜市における記録(本調査対象地域以北)は次の通りである。

上郷町 K.M (1♂) 29. VI. 1975; 山王台 M.O (2♂) 6. VII. 1958; 中里 M.O (1♂) 22. VI. 1959; 下永谷 M.O (1♂) 24. VI. 1959; 品濃 M.O (1♀) 3. VII. 1960。

牧林(1973)は平塚において記録している。

ジャノメチョウ科 SATYRIDAE

48. ヒメウラナミジャノメ *Ypthima argus* BUTLER

横須賀市 鷹取山 YCM-I. 3725 (1) 3. V. 1955; *M.N (1) 20. IV. 1968; 前田川上流 YCM-I. 3815, 3832, 3841 (3) 20. V. 1976; 上町 MBC-3-99 (1) 3. V. 1971; MBC-3-100 (1) 22. VII. 1971; *武山 T.K (1) 29. IV. 1972; 安針塚 K.N (5) 23. V. 1967; 芦名口 Y.S (1) 5. IV. 1964。

三浦市 引橋 YCM-I. 3616, 3839 (2) 20. V. 1976。

葉山町 森戸川上流 YCM-I. 3792 (1) 10. V. 1976。

逗子市 神武寺 YCM-I. 2461 (1) 25. VIII. 1953; *二子山 Y.O (2♂, 2♀) 19. V. 1974。

鎌倉市 十二所 YCM-I. 3790 (1) 7. V. 1976。

横浜市金沢区 *六浦町 Y.A (1) 15. VI. 1969; M.N (1) 20. IX. 1969; 釜利谷町 M.N (1) 10. V. 1970。

分布型: I-a. 4月中旬より10月上旬までみられる。年3回前後の発生であり, ササやぶのある人家周辺の草地, 林縁の草地等にみられるが, あまり暗いところは好まない。チヂミザサ *Oplismenus undulatifolius* ROEM et SCHULT, ススキ *Miscanthus sinensis* ANDERSS 等のイネ科植物を食草としていと考えられが確認はされていない。しかし, シバの根元に本種の卵が産付されていたのを観察している。

ハルジョオン等に訪花し, 草つゆを吸水することもある。翅の斑の大きさは春型, 夏型とでは異なる。一般に春型が大きい。

個体変異の大きい蝶であり, 斑紋異常型が発見されている (Pl. 3-3)。

49. ジャノメチョウ *Minois dryas* SCOPOLI

横須賀市 大滝町 MBC-2-120 (1) 20. VII. 1969; *大楠山 T.A (1) 16. VII. 1969; T.K (1 公) 20. VII. 1969; 武山 T.K (4♀) 3. VIII. 1973; 野比 S.S (1) 16. VII. 1977.
 葉山町 *森戸海岸 H.I (2) VIII. 1952; **仙元山 M.N (1公) 7. VII. 1968.
 横浜市金沢区 *六国峠 T.A (1公) 12. VII. 1970; 六浦町 Y.O (1公) 26. VII. 1974.

分布型: III-c. 6月下旬より8月中旬までみられる。武山丘陵以北には局所的であるが分布する。林間のススキ野原や林縁に多くみられる。葉山町森戸神社付近の岩礁帯にて、8月に本種を記録した例もある。食草はススキと考えられるが、卵、幼虫は発見されていない。雌は大形であり、伊豆神津島産の個体とは明らかに異なる。

50. ヒカゲチョウ *Lethe sicelis* HEWITSON

横須賀市 鷹取山 YCM-I. 3701, 3703 (2) 27. VI. 1949; 公郷町 YCM-I. 2473 (1) 18. IX. 1954; 馬堀町 YCM-I. 981 (1) 19. XI. 1976; 猿島 YCM-I. 980 (1) 8. VII. 1977; 上町 MBC-3-106 (1) 22. V. 1971; 大滝町 MBC-2-125 (1) 4. VI. 1967; 衣笠 MBC-3-108 (1) 8. VI. 1973; *大楠山 S.N (2公) 3. VII. 1973; 武山 K.N (3) 5. IX. 1965.
 三浦市 *引橋 M.N (1公) 4. IX. 1973.
 逗子市 *二子山 T.K (1♀) 13. IX. 1971.
 鎌倉市 十二所 YCM-I. 894, 895 (1公, 1♀) 20. IX. 1975.
 横浜市金沢区 *六浦町 S.N (3) 3. VII. 1973; M.N (1) 7. X. 1967; 釜利谷町 M.N (1公, 1♀) 26. IX. 1971; 朝比奈町 M.N (1) 19. IX. 1967.

分布型: I-a. 6月上旬より、10月上旬までみられる。1化は6月上旬、2化は8月下旬よりみられ、各々の発生個体数に顕著な差は認められない。半島内全域に分布し、林縁、林内、人家周辺等にみられる。ジャノメチョウ科の中では最も発見しやすい種といえる。アズマネザサ *Pleioblastus Chino* MAKINO を食し、幼虫、卵が発見されている (Pl. 4-7)。

クヌギの樹液、イヌビワ、イチヂク等の果実に飛来し、また汚物 (小動物の死骸) に訪れる。縄張を有する。

51. サトキマダラヒカゲ *Neope gaschkevitchii* MÉNÉTRIÈS

横須賀市 畠山 YCM-I. 2486 (1) 25. IV. 1954; 前田川上流 YCM-I. 3825, 3830, 3833 (3) 20. V. 1976; 大楠山 YCM-I. 2487 (1) 23. VIII. 1955; 久比里 YCM-I. 3656 (1) 6. VI. 1960; 坂本町 YCM-I. 3682 (1) 20. VIII. 1957; 大滝町 MBC-2-127, 2-129 (2) 8. V. 1966; *武山 S.N (1) 24. IX. 1973; 安針塚 K.N (2) 23. V. 1967.
 三浦市 三浦海岸 MBC-3-110, (1) 7. V. 1971; *引橋 M.N (1♀) 4. IX. 1973; **城山 Y.O (2公) 4. V. 1974.
 逗子市 *桜山 H.I (1) 21. IV. 1954; 二子山 T.A (1) 2. VI. 1969.
 横浜市金沢区 *六浦町 Y.O (2公) 5. V. 1974; 釜利谷町 T.K (1公) 3. V. 1973.

分布型: I-a. 4月下旬より9月下旬にみられる。1化は4月下旬、2化は8月上旬より発生する。半島内全域に分布し、林縁に多いが人家周辺にもみられる。アズマネザサを食草とし、卵塊 (15-20 卵) が発見されている。

樹液や汚物に飛来することが多い。越冬態は未確認であり、今後の調査を要する。異常型がある (Pl. 3-4)。

52. ヒメジャノメ *Mycalesis gotama* MOORE

横須賀市 畠山 YCM-I. 3767 (1) 25. IV. 1954; 衣笠公園 YCM-I. 3659 (1) 10. V. 1955; 佐原 YCM-I. 2468 (1) 31. V. 1955; 坂本町 YCM-I. 3683 (1) 20. VIII. 1957; 大滝町 MBC-2-123 (1) 20. V. 1971; 上町 MBC-3-101 (1) 23. V. 1971; 野比 MBC-3-102 (1) 26. VI.

1971; *武山 K.N (1) 24. IX. 1973; **森崎 H.I (1) 6. X. 1974.

三浦市 *松輪 M.N (2♂) 24. IX. 1973; 引橋 M.N (3♂) 4. IX. 1973.

逗子市 *二子山 M.N (1) 8. VIII. 1968.

横浜市金沢区 *六浦町 S.N (1) 3. VIII. 1965; 釜利谷町 M.N (2♂, 1♀) 15. IX. 1971.

分布型: I-a. 5月上旬より10月上旬までみられ, 5月下旬, 8月上旬そして9月中旬に多く, 年3回前後の発生と考えられる。出現期を他の種と比較すると以下の傾向がみられる。5月初旬にヒカゲチョウが出現し始め, 直後にサトキマダラヒカゲが, 次にヒメジャノメが発生する年が多い。

コジャノメよりやや陽性であり, 発生期も遅い。林縁, 林内に多く, また人家付近でもみられるが, 山奥ではみられなくなる。アズマネザサを食草とし, 卵, 幼虫が6月に発見された。この他にもイネ科植物のイネ, チヂミザサ, ススキ, エノコログサ等を食しているものと考えられる。

53. コジャノメ *Mycalesis francisca* CRAMER

横須賀市 昌山 YCM-I. 2470 (1) 25. IV. 1954; 鷹取山 YCM-I. 3707 (1) 3. V. 1955; YCM-I. 3702, 3704, 3705 (3) 27. VI. 1949; 木古庭 YCM-I. 2471 (1) 30. V. 1958; 上町 MBC-3-103 (1) 23. V. 1971; 田浦 MBC-3-104, 3-105 (2) 17. VIII. 1971; 武山 S.N (1) 24. IX. 1973.

三浦市 *引橋 M.N (1♀) 4. IX. 1973.

逗子市 神武寺 YCM-I. 873 (1) 18. V. 1976; 二子山 Y.O (2♂) 19. V. 1974.

鎌倉市 十二所 YCM-I. 953 (1) 19. V. 1977.

横浜市金沢区 *六浦町 Y.O (1♂) 26. VII. 1974; 釜利谷町 T.K (5♂) 3. V. 1973.

分布型: I-b. 4月下旬より9月下旬までみられる。5月中旬, 8月上旬そして9月中旬に各々記録が多い。ヒメジャノメに比べて発生がやや早い。半島内全域に分布し, 林縁, 林内に多くみられる。日中は特に暗い林内を好む。アズマネザサを食草とし, 幼虫で越冬する。

セセリチョウ科 HESPERIIDAE

54. ミヤマセセリ *Erynnis montanus* BREMER

横須賀市 木古庭 YCM-I. 2620 (1) 8. IV. 1958; 田浦町 YCM-I. 182-186 (5) 8. IV. 1973; 沢山の池 YCM-I. 2624, 2625 (2) 11. IV. 1954; 鷹取山 YCM-I. 3718 (1) 14. IV. 1955; *大楠山 T.M (2) 2. V. 1965; 安針塚 K.N (1♂) 17. IV. 1965.

葉山町 長柄 YCM-I. 3787 (1) 10. V. 1976.

逗子市 二子山 YCM-I. 2621 (1) 26. III. 1954; *K.S (1♂) 21. III. 1966; 桜山 H.I (1) 5. IV. 1959; 神武寺 Y.O (1♂) 25. IV. 1971.

横浜市金沢区 釜利谷町 T.M (1) 16. V. 1965; 六浦町 T.K (1♂) 3. IV. 1974; 六国峠 T.A (3♂) 5. V. 1971.

分布型: II-b. 3月下旬より5月中旬までみられる。4月上旬に多く, 年1回の発生である。半島内全域に分布するが発生地は極限される。丘陵地のコナラ, クヌギを主体とした雑木林周辺にみられる。特に横須賀, 逗子, 葉山の境界付近の丘陵地尾根にも多く発見されている。本種がコナラの新芽に産卵するのを目撃した他, コナラの葉より幼虫が発見されている。発生期には必ず発見できる種であるが, 個体数は多くない。タンポポ, ネギ等に訪花例がある。

55. ダイミョウセセリ *Daimio tethys* MÉNÉTRIÈS

横須賀市 大楠山 YCM-I. 3759 (1) 7. IV. 1955; *M.N (3) 30. VIII. 1969; 鷹取山 YCM-I. 2628 (1) 29. IV. 1954; YCM-I. 3712 (1) 27. VI. 1949; 衣笠公園 YCM-I. 3624 (1) 10. V. 1955; 前田川上流 YCM-I. 3842, 3843 (2) 20. V. 1976; 木古庭 YCM-I. 2635 (1) 30. V. 1958; 久村 YCM-I. 3760 (1) 19. VIII. 1955; 坂本町 YCM-I. 3760 (1) 19. VIII.

1955; YCM-I, 3679, 3680 (2) 20. VIII. 1959; *武山 H.S (1) 3. V. 1969.
 逗子市 *桜山 H.I (1♀) 26. III. 1953; 二子山 K.N (1) 29. VI. 1969.
 鎌倉市 十二所 YCM-I, 948, 949 (2) 19. V. 1977.
 横浜市金沢区 *六浦町 T.M (1) 18. VII. 1965; 朝比奈町 T.K (1) 30. IV. 1973; 釜利谷町 M.N (4♂) 24. V. 1970.

分布型: I-b. 4月下旬より9月上旬までみられる。5月上旬, 7月上~中旬に最盛期がある, 4月下旬より7月下旬まで1化および2化の記録は連続し, 3化は8月下旬よりみられる。半島内全域に分布し, 丘陵地, 林縁, 人家付近等にみられる。ヤマノイモ *Dioscorea japonica* THUNB., 栽培種のヤマトイモ等を食する。ウツギ, マーガレット, ヒメジョオン等の白色花に多く訪花する。縄張を有する。

56. アオバセセリ *Choaspes benjaminii* GUÉRIN-MÉNÉVILLE

横須賀市 **武山 K.N (1) 30. VIII. 1965.
 逗子市 神武寺 MBC-3-111 (1) 27. IV. 1972; *桜山 T.O (1♀) 5. IX. 1953.
 鎌倉市 **十二所 N.O (1) 16. V. 1971 (Pl. 4-8); 天園 K.S (1) 23. V. 1965.
 横浜市金沢区 *釜利谷町 T.K (2) 3. V. 1973; 六浦町 Y.O (1♂, 1♀) 12. V. 1970.

分布型: II-c. 4月下旬より5月下旬および8月下旬の記録がある。2化は8月下旬の1例のみであり, 発生状況については更に調査を要する。武山丘陵以北に分布記録があり, 北部になるに従い記録数は多くなる。このことは食餌との関係による結果と考えられる。

林縁のアワブキ *Meliosma myriantha* SIEB. et ZUCC. より卵, 幼虫が発見されている。ダイコン, ネギ, イボタ, ハルジョオン, ウツギ, レンゲ等に訪花する。吸水例がある他, 山頂占有性を有す。林床空間を素早く飛翔する。暖地性の種といえる。

57. ギンイチモンジセセリ *Leptolina unicolor* BREMER & GREY

横浜市金沢区 *六浦町 Y.O (1♂) 22. VII. 1970 (Pl. 3-6); 釜利谷町 Y.O (♂) 24. IV. 1977.

分布型: III-c. 分布記録はきわめて少ない。

分布, 発生共に未調査であり, 土着種であるのか否かは不明である。食草のススキは半島内各地にみられるのに対し, 本種は半島中, 南部では未記録である。通常本種の発生地では, 多数の個体が飛翔活動していることが多い。移動性が小さいということから遺存種として土着している可能性も考えられる。

半島近縁地域では川崎市北部で丸山 (1972) の記録がある。

58. コチャバナセセリ *Thoressa varia* MURRAY

横須賀市 鷹取山 YCM-I, 3721 (1) 3. V. 1955; YCM-I, 3720 (1) 15. V. 1955; *K.S (1) 15. IX. 1966; 前田川上流 YCM-I, 3807 (1♂) 20. V. 1976; 大滝町 MBC-2-136 (1) 20. V. 1971; MBC-2-135 (1) 13. VII. 1968; *武山 K.N (1) 5. IX. 1965.
 三浦市 引橋 YCM-I, 2764 (1) 17. VII. 1977.
 葉山町 森戸川上流 YCM-I, 3796 (1) 10. V. 1976.
 逗子市 *二子山 M.N (1) 21. IV. 1968.
 鎌倉市 十二所 YCM-I, 945, 946 (2) 19. V. 1977; *T.K (1) 30. VI. 1973.
 横浜市金沢区 *六浦町 M.N (1♂) 25. V. 1970; 釜利谷町 M.N (3♂) 30. IV. 1971; 朝比奈町 K.S (2) 20. VII. 1965.

分布型: I-b. 4月下旬より9月中旬にみられる。年3回前後の発生で1化は4月下旬, 2化は6月下旬そして3化と考えられる個体が9月上旬よりそれぞれ発生する。4月下旬から5月上旬に多く,

7月中旬に最盛期がある。ダイミョウセセリより2週間前後発生が早い。飛翔力が大きいので三浦半島全域にみられるが、食草との関係から生息地が局所的である傾向がある。

丘陵地、耕作地周辺、日陰の土堤等に多く、人家周辺にはあまりみられない。ササ類を食しているものと考えられる。ダイコン、ヒメジョオン、シバサクラ、ヤブカラシ等に訪花例がある。吸水例は多い。

59. キマダラセセリ *Potanthus flavum* MURRAY

横須賀市 佐原 YCM-I. 2639 (1) 2. VI. 1954; 公郷町 YCM-I. 2637 (1) 24. VI. 1954; 鷹取山 YCM-I. 3713 (1) 27. VI. 1949; 坂本町 YCM-I. 3762 (1) 30. VI. 1955; 安針塚 YCM-I. 2638 (1) 30. VIII. 1959; *大楠山 M.N (1) 30. VIII. 1969; **武山 K.N (3) 5. IX. 1965.

三浦市 毘沙門 YCM-I. 3763 (1) 28. VIII. 1958; 引橋 YCM-I. 994 (1) 16. VII. 1977.

逗子市 *桜山 Y.S (1) 6. VI. 1956; 披露山 Y.S (1) 6. VI. 1956.

横浜市金沢区 *野島 T.A (1) 16. VII. 1969; 六浦町 Y.O (2♂, 1♀) 20. VI. 1970; 朝比奈町 K.S (1) 26. IX. 1965.

分布型: I-b. 5月上旬より、9月下旬までみられる。年2回の発生で、1化は5月上旬、2化は8月下旬より発生する。6月中旬～下旬と9月上旬に各々最盛期が認められる。

ススキ、ササ類、エノコログサ等を食草とし、海岸部を除いて、ススキのある場所であるならば生息していることが多い。イボタ、トラノオ等に訪花例がある。幼虫は7月上旬に多く発見されている。丘陵地や樹木のあるところに多いが、イボタの垣根にもよく飛来する。

60. ホンバセセリ *Isoteinon lamprospilus* C. & R. FELDER

逗子市 *神武寺 K.S (1) 26. VII. 1965.

鎌倉市 十二所 YCM-I. 2701 (2) 1. VIII. 1977.

横浜市金沢区 *六浦町 K.S (2) 16. VII. 1965 (Pl. 3-7); 六国峠 T.A (1) 30. VII. 1970; 朝比奈町 K.N (2) 20. VII. 1965.

分布型: III-c. 半島内ではきわめて稀である。記録はいつでも半島北部であることから、鷹取山以北に分布するものと考えられる。

ススキの群生する明るい林内で発見されているが、発生地は局所的であり個体数も少ない。多摩丘陵方面に分布の本拠を持つ蝶といえる。ハギに訪花例がある。

61. オオチャバネセセリ *Polytremis pellucida* MURRAY

横須賀市 畠山 YCM-I. 2644 (1) 25. IV. 1954; 長沢 MBC-2-139 (1) 20. VI. 1972; 大滝町 MBC-2-140 (1) 19. VIII. 1961.

逗子市 *二子山 T.A (2) 23. VII. 1969.

鎌倉市 十二所 YCM-I. 891, 892 (1♂, 1♀) 20. IX. 1975.

横浜市金沢区 *六浦町 Y.O (5♂) 15. IX. 1973; 野島 T.A (3) 28. VIII. 1969; 釜利谷町 H.S (1) 28. 1969; 朝比奈町 M.N (3) 22. VI. 1968.

分布型: I-a. 6月中旬より10月上旬まで連続してみられる。年2回前後の発生で、1化は6月中旬、2化は8月中旬より発生する。

最盛期は不明確であるが、イチモンジセセリの様に秋季に至ってから急激に個体数を増す傾向はない。半島内全域に分布し、開けたササ野原、丘陵地、耕作地、そして人家周辺にまでみられる。食草はササ、タケ等と考えられる。

62. チャバネセセリ *Pelopidas mathias* FABRICIUS

横須賀市 大滝町 MBC-2-141 (1) 30. IX. 1971; MBC-2-142 (1) 18. X. 1972; MBC-2-201 (1) 22. X. 1972; *武山 M.N (7) 22. IX. 1969; 大楠山 K.N (1) 10. X. 1965 鷹取山 S.N

(1) 23. IX. 1965.

逗子市 *二子山 M.N (1) 8. IX. 1968; 桜山 H.I (1) 4. VI. 1954.

鎌倉市 十二所 YCM-I. 912 (1) 20. IX. 1975.

横浜市金沢区 *六浦町 T.K (2♀) 14. IX. 1969; 朝比奈町 K.S (2) 26. IX. 1965; 釜利谷町 K.S (2) 23. IX. 1965.

分布型: I-b. 9月上旬より10月中旬にみられる。春季から夏季にかけての個体数がきわめて少ないことから土着している可能性は少ないが、今後の調査を要する。成虫が発生地より飛来した結果によるものと考えられる。秋季に急激に個体数を増し出現期が限られる。イチモンジセセリが多くみられるころ、それらに混り出現する。

半島内全域に記録があり、丘陵地から海岸部の草地までみられる。ススキに産卵例がある。ケイトウ、ペンケイソウに訪花する。

63. イチモンジセセリ *Parnara guttata* BREMER & GREY

横須賀市 久村 YCM-I. 3758 (1) 19. IV. 1955; 野比 YCM-I. 3823 (1) 16. V. 1976; 天神島 YCM-I. 931 (1) 7. IX. 1975; 大滝町 MBC-2-143 (1) 29. V. 1967; MBC-2-145 (1) 15. VIII. 1971; *武山 T.K (1) 3. V. 1969; 大楠山 H.I (1) 15. XI. 1959; 公郷町 H.I (1) 14. XI. 1953.

葉山町 *長柄 Y.S (1) 31. VIII. 1957.

逗子市 *二子山 T.A (2) 4. VI. 1963; 桜山 H.I (1) 23. XI. 1956.

鎌倉市 十二所 YCM-I. 913 (1) 20. IX. 1975.

横浜市金沢区 *六浦町 T.A (6) 28. VI. 1969; 六浦町 Y.O (1♂, 1♀) 15. IX. 1973; M.N (1) 8. X. 1967; 釜利谷町 H.S (1) 28. V. 1969.

分布型: I-a. 4月下旬より10月下旬までみられるが、春季と夏季は少ない。春季と夏季における化性は明瞭である。イネ、ススキ、チヂミザサを食草とするが、季節により食草が異なる。各種の花に飛来する。吸水例がある。半島各地で多数の個体が一定方向に飛翔したのを目撃している。11月に三浦海岸にて幼虫を目撃している。黒化した異常型 (Pl. 3-8) が得られている。

ま と め

1. 本調査により三浦半島で記録された蝶類は迷蝶を含めて7科63種であった。
2. 文献記録によれば更に6種が追加されるが、標本は未確認である。
3. 記録された63種の蝶類のうち18種は稀またはきわめて稀である。
4. 三浦半島の蝶類は6月に最も多くの種の成虫がみられる。
5. 半島北部のみ分布記録されている蝶は、ギンイチモンジセセリ他11種であり、これらの種は多摩丘陵方面に分布の本拠を有すものと考えられる。
6. ギンイチモンジセセリをはじめとした11種の蝶類の分布境界は追浜と鎌倉を結ぶ線付近にあり、この境界は同時に多摩丘陵型植生と三浦半島の代表的植生とを分けている。
7. 宅地造成等の自然破壊により雑木林が著しく減少した結果、アカシジミ、ミドリシジミ等が大変減少した。
8. 宅地造成等により食草が人為的に植栽された結果、個体数を増した蝶としてモンキチョウがあげられる。

お わ り に

1954年以来、郷土昆虫愛好者、横浜市立六浦中学校生物部卒業生諸氏、横須賀市博物館らは各々三浦半島の昆虫類について独自に調査を進めてきたが、資料の充実化を図る必要性から1976年に三者により三浦半島昆虫研究会を発足させ調査をまとめるに至った。本報告は長期に渡る野外調査結果を基にまとめたものである。

郷土の豊かな自然が失われてしまう前に緊急にその実態を明らかにし、出来得ることならば残された自然を保全したいと願うものである。

本調査を進めるに当たり、植物分布上の点で御教示頂いた横須賀市博物館大谷茂先生に深謝の意を表すると共に、貴重な資料を提供された多くの方々に御礼申し上げる。

文 献

- 赤穂敏也 1958. 横須賀で記録されたリュウキュウムラサキ, 横須賀市博研報〔自然〕, (3): 42.
 天野和平 1969. 横浜でアサマイチモンジ採集. 昆虫と自然, 4(3): 33.
 新井康允 1958. 三崎のシルヴィアシジミ. 神奈川虫報, (13): 9.
 梶田 長 1930. 南日本沿岸の蝶. *Zephyrus*, 2(4): 261-263.
 石黒忠久 1974. 天神島の昆虫(蝶類). 横須賀市博研報, (20): 22.
 井上 健 1971. 横浜でスミナガシを目撃. 昆虫と自然, 6(11): 28.
 岩崎昌弘 1969. 横浜でリュウキュウムラサキを採集. 同上, 4(10): 30.
 盤瀬太郎 1952. シルヴィアシジミの分布と北限. 昆虫学評論, 6(3): 19-20.
 小寺竜之助 1956. 横浜市内でミヤマカラスアゲハを採集. 新昆虫, 9(13): 40-41.
 小清水卓二 1938. 日本植物分布系にハマオモト線(Crinum Line)(新称)設定に就いて, 植物雑, 52: 135-167.
 横浜气象台 1975. 神奈川県気象月報, 1~12月: 1-15.
 小松崎恭朗 1971. 神奈川県三浦半島鷹取山でミドリヒョウモン採集. 昆虫と自然, (10): 13.
 木下周太・阿田 薫 1933. 二化螟虫及び三化螟虫分布綜説並に二化螟虫原産地の想定. 植物及動物, 1: 475-481.
 川副昭人・若林守男 1976. 原色日本蝶類図鑑(白水 隆監修). 保育社: 1-422.
 牧林 功 1973. 平塚市内にまだオオムラサキがいる. 神奈川虫報, (44): 32.
 丸山 清 1972. 分布資料. 同上, (39): 34.
 松山研一 1935. 蝶類分布雑報. 昆虫界, 3(17): 325-326.
 酒井千明 1969. 三浦半島にてミカドアゲハ目撃. 昆虫と自然, 4(10): 30.
 渋谷 誠 1974. じゃのめ蝶のいる町—川崎の蝶1974年の調査報告. 神奈川虫報, (45): 1-27.
 鈴木 晃 1956. 房州におけるウラナミシジミの発生状況と食草について. 新昆虫, 9(3): 38.
 ——— 1958a. 房州のウラナミシジミについて. 同上, 11(1): 29.
 ——— 1958b. 房州のウラナミシジミ. 同上, 11(10): 31.
 鈴木 裕 1963. 三浦半島の蝶について. *Mushi Mezuru*, (1): 1-16.
 矢野重明 1953. 関東地方に於けるシルヴィアシジミの分布について. 新昆虫, 6(6): 27.
 安江安宜 1954. シルヴィアシジミの分布とその食草について考えること. 同上, 7(11): 44.
 横須賀郷土文化研究室 1952. 猿島. 横須賀市史, (7): 115-117.
 渡辺勝彦 1942. 採集資料. 虫の世界, 4(9-10): 154.
 渡 正監 1929. 日本の高山蝶. 山岳, 23(2): 192-217.

Explanation of plates 1-6

Plate 1

- | | |
|---|---------------------|
| 1. <i>Papilio maehaon</i> LINNAEUS (Abnormal type) | キアゲハ (斑紋異常型) |
| 2. <i>P. helenus</i> LINNAEUS (Abnormal type) | モンキアゲハ (斑紋異常型) |
| 3. <i>P. protenor</i> GRAMER (Tail less type) | クロアゲハ (無尾型) |
| 4. <i>P. maackii</i> MENETRIES | ミヤマカラスアゲハ |
| 5. <i>Japonica lutea</i> HEWITSON | ウラナミアカシジミ |
| 6. <i>Neozephyrus taxila</i> BREMER (Abnormal type) | ミドリシジミ (雌雄型) |
| 7. <i>Favonius orientalis</i> MURRAY (Right: Abnormal type) | オオミドリシジミ (右: 斑紋異常型) |
| 8. <i>Pseudozizeeria maha</i> KOLLAR (Abnormal type) | ヤマトシジミ (斑紋異常型) |

Plate 2

- | | |
|--|---------------|
| 1. <i>Zizina otis</i> FABRICIUS | シルビアシジミ |
| 2. <i>Parantica sita</i> KOLLAR | アサギマダラ |
| 3. <i>Damora sagana</i> DOUBLEDAY | メスグロヒョウモン |
| 4. <i>Argynnis paphia</i> LINNAEUS | ミドリヒョウモン |
| 5. <i>Argyreus hyperbius</i> LINNAEUS | ツマグロヒョウモン |
| 6. <i>Limenitis (Ladoga) glorifica</i> FRUHSTORFER | アサマイチモンジ |
| 7. <i>Nymphalis xanthomelas</i> DENIS & SCHIFFERMULLER | ヒオドシチョウ |
| 8. <i>Venessa indica</i> HERBST (Abnormal type) | アカタテハ (斑紋異常型) |

Plate 3

- | | |
|---|--------------------|
| 1. <i>Dichorragia nesimachus</i> BOISDUVAL | スミナガシ |
| 2. <i>Sasakia charonda</i> HEWITSON | オオムラサキ |
| 3. <i>Ypthima argus</i> BUTLER (Abnormal type) | ヒメウラナミジャノメ (斑紋異常型) |
| 4. <i>Neope goschkevitschii</i> MÉNÉTRIÈS (Abnormal type) | サトキマダラヒカゲ (斑紋異常型) |
| 5. <i>Choaspes benjaminii</i> GUÉRIN-MÉNÉVILLE | アオバセセリ |
| 6. <i>Leptalina unicolor</i> BREMER & GREY | ギンイチモンジセセリ |
| 7. <i>Isoteinon lamprospilus</i> C. & R. FELDER | ホソバセセリ |
| 8. <i>Parnara guttata</i> BREMER & GREY (Abnormal type) | イチモンジセセリ (斑紋異常型) |

Plate 4

- | | |
|--|----------------|
| 1. <i>Anthocharis scolymus</i> BUTLER | ツマキチョウ |
| 2. <i>Artopoetes pryori</i> MURRAY (Eggs) | ウラゴマダラシジミ (卵) |
| 3. <i>Antigius attilia</i> BREMER (Eggs) | ミズイロオナガシジミ (卵) |
| 4. <i>Rapala arata</i> BREMER | トラフシジミ |
| 5. <i>Taraka hamada</i> DRUCE (Larvae) | ゴイシシジミ (幼虫) |
| 6. <i>Curetis acuta</i> MOORE (Eggs) | ウラギンシジミ (卵) |
| 7. <i>Lethe sicelis</i> HEWITSON (Larvae) | ヒカゲチョウ (幼虫) |
| 8. <i>Choaspes benjaminii</i> GUÉRIN-MÉNÉVILLE | アオバセセリ |

Plate 5

- | | |
|--------------------------|--------|
| 1. Jōgashima, Miura City | 三浦市城ヶ島 |
| 2. Bishamon, Miura City | 三浦市毘沙門 |

- | | |
|-------------------------------|---------|
| 3. Hikihashi, Miura City | 三浦市引橋 |
| 4. Hikihashi, Miura City | 三浦市引橋 |
| 5. Nagasawa, Yokosuka City | 横須賀市長沢 |
| 6. Tenjin-jima, Yokosuka City | 横須賀市天神島 |
| 7. Takeyama, Yokosuka City | 横須賀市武山 |
| 8. Takeyama, Yokosuka City | 横須賀市武山 |

Plate 6

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 1. Ohgusuyama, Yokosuka City | 横須賀市大楠山 |
| 2. Ohgusuyama, Yokosuka City | 横須賀市大楠山 |
| 3. Taura-Ohsaku-chō, Yokosuka City | 横須賀市田浦大作町 |
| 4. Nagae, Hayama Sub-ward | 葉山町長柄 |
| 5. Futagoyama, Zushi City | 逗子市二子山 |
| 6. Jinmuji, Zushi City | 逗子市神武寺 |
| 7. Jūniso, Kamakura City | 鎌倉市十二所 |
| 8. Kamariya-chō, Yokohama City | 横浜市釜利谷町 |

